

取扱説明書 基本ガイド

ポータブル 地上・BS・110度CSデジタルテレビ

品番 UN-19F5

プライベート・ビエラ

VIERA



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

本機の詳しい操作説明について

本書は接続と設定およびモニターの基本的な操作説明をしています。

モニターの詳しい操作説明およびチューナー部をテレビに接続して操作する方法は、内蔵の「取扱説明書」(→ 4)をご覧ください。

保証書別添付

安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みください。
(8 ~ 13ページ)

準備

接続と設定は、21 ~ 25ページをお読みください。

基本操作 ▶



他のテレビと接続する ▶



ネットワークの接続 / 設定 ▶



必要なとき ▶



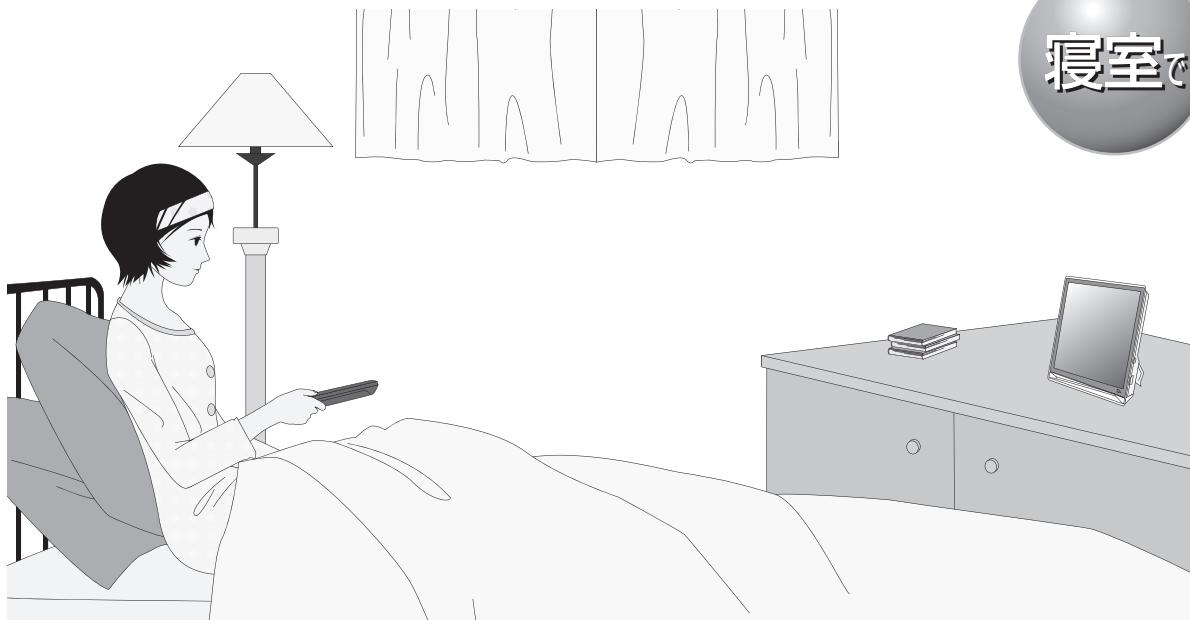
特長

家中の中でも

ワイヤレスで見たい番組が楽しめる

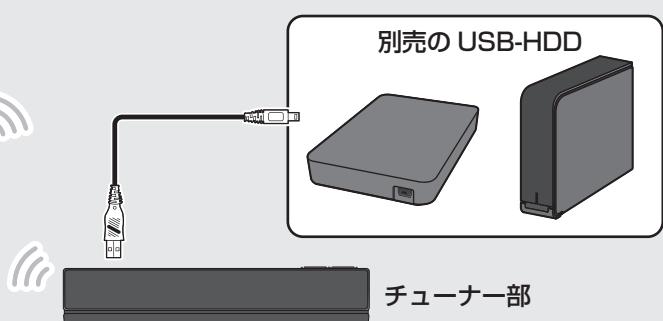
使用する場所の電波状況によっては、映像が乱れたり、安定しない場合があります。モニターをご使用になるには、チューナー部の設置と無線接続が必要です。

寝室で



別売の USB-HDD を チューナー部に接続すると録画や再生が楽しめる

録画*や再生の機能を利用することができます。



USB-HDD の接続・登録、録画や再生の操作については、内蔵の取扱説明書 (→4) をご覧ください。

- 推奨の USB-HDD や接続・登録は「別売の USB ハードディスク (USB-HDD) について」をご覧ください。

*録画中はチャンネルを切り換えることはできません。

家の外でも 番組を楽しめる

専用アプリをダウンロードすれば、スマートフォンで番組を楽しむことができます。

スマホで

外からどこでもスマホで視聴



詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/av/m_access/



本機の詳しい操作説明などの情報は 内蔵の取扱説明書

モニターから内蔵の取扱説明書をご覧ください。



リモコンを使って以下の操作で表示できます。

- ①「ホーム」を押す
- ②「設定」を選び、[決定]を押す
- ③「取扱説明書」を選び、[決定]を押す

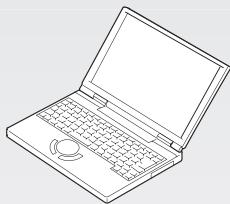
連携機器情報などの詳しい情報は

当社ホームページ

お持ちのパソコンからご覧ください。

ブラウザのアドレスバーに

<http://panasonic.jp/support/> と入力



モニターやチューナー部を使用していただくための、サポート情報を掲載しています。

- 連携できる機器品番情報などを確認できる「動作確認情報一覧」
- 困ったときや、用語を調べたいときの「よくあるご質問」など

ホームページの内容は、変更される場合があります。あらかじめご了承ください。



パナソニックスマートアプリについて

- パナソニック商品を、スマートフォンで楽しく快適に使うための統合アプリです。
- このアプリを使うと簡単にご愛用者登録ができます。
 - 機器操作、ディモーラ/ミモーラのサービスなども簡単に使えます。

パナソニックスマートアプリのダウンロード方法や使い方はこちら

<http://panasonic.jp/pss/ap/>



特長	2
はじめに	6
・付属品	6
各部の働き	14
・モニター	14
・チューナー部前面	15
・チューナー部背面	15
・リモコン	16
設置に関するお知らせ	18

■ 準備

接続と設定を行ってください	21
モニターを設置する	26
電源を入れる	27
・電源を入れる / 切る	27

■ 基本操作

モニター画面の操作について	28
・内蔵の取扱説明書について	29
テレビを見る	30
・番組表から選局する	30
・視聴中の操作	30
お部屋ジャンプリンクを利用して	
他の機器の録画番組を再生する	31
設定する	32
・モニターのリモコン設定をする	33

□ 他のテレビと接続する

他のテレビと接続する	34
・miniB-CAS (ミニビーキャス) カードを 挿入する	34
・テレビやアンテナと接続する	35
・アンテナ端子が別々の場合	36
・アンテナ端子がひとつの場合	37
・セットトップボックス (CATV・光回線など) を利用する場合	38
・アンプと接続する	39
・電源コードと接続する	40
・チューナー部の操作について	41
・チューナー部のリモコン設定をする	42

○ ネットワークの接続 / 設定

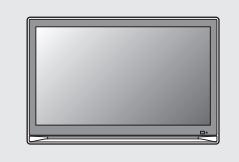
ネットワークの接続をする	43
・モニターで利用	43
・チューナー部で利用	43
ネットワークの設定をする	45

？ 必要なとき

こんな表示が出たら	46
・チューナー部	46
・モニター	47
故障かな！？	48
・モニター	49
・リモコン	49
・ネットワーク	49
著作権など	50
保証とアフターサービス	
(よくお読みください)	52
さくいん	54

はじめに

本製品は、モニターとチューナー部で構成されています。

	モニター UN-19F5D
	チューナー部 UN-E5S

●電源コードキャップ*および包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。

*付属の電源コードによって、電源コードキャップがないものがあります。

●小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

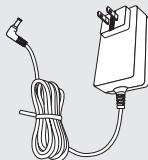
●イラストと実物の形状は異なっている場合があります。

●付属品の品番は、2015年3月現在のものです。変更されることがあります。

●電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

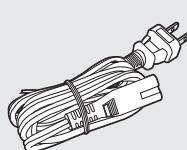
付属品

モニター用



AC アダプター (1 個)
SAE0007AA

チューナー部用



電源コード (1 本)
K2CA2YY00269



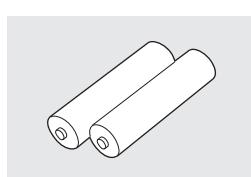
miniB-CAS カード (1 枚)
●台紙に貼り付けてあります。
●本カードの紛失時は
(→21)

モニター・チューナー部共用

リモコン (1 個)
N2QAYB001045



リモコン用乾電池 (2 本)
単3形乾電池



付属品や別売品は販売店でお買い求めいただけます。

パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニックストア」でお買い求めいただけるものもあります。詳しくは「パナソニックストア」のサイトをご覧ください。

<http://jp.store.panasonic.com/>
パナソニックグループのショッピングサイト



Panasonic Store

設置について

- アンプなどの熱源となるものの上に置かない。
- 温度変化が起きやすい場所に設置しない。
- 「つゆつき」が起こりにくい場所に設置する。
- 不安定な場所に設置しない。
- 重いものを上に載せない。
- チューナー部は縦に置かない。
- モニターの液晶画面を下にして置かない。

(液晶画面の表面に傷が付く原因になります)
タバコの煙や、超音波式加湿器から噴霧された水分も故障の原因になりますのでお気をつけください。



操作を受け付けなくなったときは…

モニター



— [電源 \odot/\square]を
3秒以上押す

電源が切れます。

チューナー部



— [電源 \odot/\square]を
3秒以上押す

故障かな!?と思った場合 →48

本書内の表現について

- 本書内で参照していただくページを(→〇〇)で示しています。

つゆつきについて

冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。このような現象を「つゆつき」といいます。

- 「つゆつき」が発生しやすい状況
 - ・急激な温度変化が起きたとき(暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接当たるなど)
 - ・湯気が立ち込めるなど、部屋の湿度が高いとき
 - ・梅雨の時期
- 「つゆつき」が起こったときは故障の原因になりますので、部屋の温度になじむまで(約2~3時間)、電源を切ったまま放置してください。

温度上昇について

チューナー部とモニターを使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。

チューナー部の移動やお手入れなどをするとときは、電源を切って電源コードを抜いて3分以上待ってください。

- 温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



気をつけていただく内容です。



異常・故障時には直ちに使用を中止する



電源プラグ
を抜く

異常があったときには、電源プラグを抜く

- ・煙が出たり、異常ににおいや音がする
- ・映像や音声が出ないことがある
- ・内部に水や異物が入った
- ・電源プラグが異常に熱い
- ・モニター、チューナー部、ACアダプターに変形や破損した部分がある

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- ・電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる



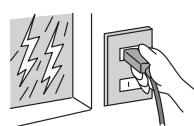
プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- ・電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

雷が鳴ったら、チューナー部やモニター、電源プラグ、アンテナ線に触れない

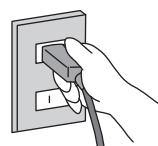


接触禁止



感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- ・傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

⚠ 警告

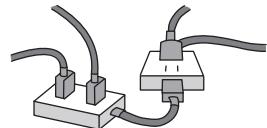
チューナー部の分解、改造をしない



内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

分解禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



感電の原因になります。

ぬれ手禁止

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない



ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特に子様にはご注意ください。

miniB-CASカードは、乳幼児の手の届くところに置かない



誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

強い力や衝撃を加えないでください



液晶パネルのガラスが割れて、けがの原因になることがあります。

浴室や台所など水のかかるおそれのある場所では絶対に使用しない



感電やショートによる火災などの原因になります。

ACアダプターおよび電源コードのコード部や電源プラグを破損するようなことはしない

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)



傷んだまま使用すると、感電や、ショートによる火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

⚠ 警告

モニターは可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない



火災や爆発の原因になります。

- 粉じんの発生する場所でも使わないでください。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない



耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。

モニターは電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない



モニターの温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど※の原因になります。

※血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

リモコンの電池は誤った使いかたをしない



- 指定以外の電池を使わない
- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- +と-を針金などで接続しない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
- +と-を逆に入れない
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- 被覆のはがれた電池は使わない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

• 電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートによる火災の原因になりますので、絶対にはがさないでください。

リモコンの電池の液がもれたときは、素手でさわらない



- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す



そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

心臓ペースメーカーを装着している方はチューナー部やモニターを装着部から22cm以上離す



チューナー部やモニターからの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない



チューナー部やモニターからの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあります。誤動作による事故の原因になります。

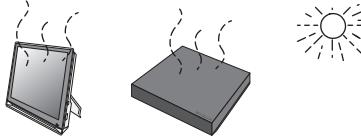
病院内や医療用電気機器のある場所で使用しない



チューナー部やモニターからの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあります。誤動作による事故の原因になります。

⚠ 注意

異常に温度が高くなるところに置かない



温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
- 特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約 60 °C以上）になります。モニターや AC アダプターなどを絶対に放置しないでください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

コードを接続した状態で移動しない



接続した状態で移動させようすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

重い物を上に載せたり、乗ったりしない



倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

放熱を妨げない



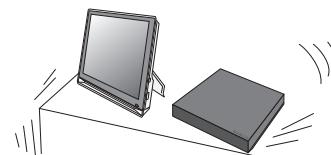
内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。

- チューナー部背面および底面の通風孔をふさがないでください。
- また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。

不安定な場所に置かない



- 高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない



倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

- また、製品の故障の原因にもなりますので、ご注意ください。

屋外アンテナの設置、工事は自分でしない



強風でアンテナが倒れた場合に、けがや感電の原因になることがあります。

- 設置・工事は販売店にご相談ください。

機器のイラスト(姿図)は、イメージイラストであり、ご購入のものとは形状が多少異なる場合がありますがご了承ください。

⚠ 注意

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない



電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

歩行中はモニターで映像などを見ない



物にぶつかったり、つまずいたりして、けがの原因になることがあります。

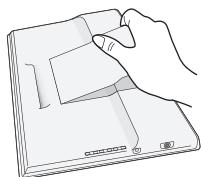
ヘッドホン接続前に、音量を下げる



音量を上げ過ぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になることがあります。

- 音量は少しづつ上げてご使用ください。

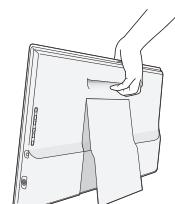
モニターのスタンドをつかんで持ち上げたり、運んだりしない



落下すると、けがの原因になることがあります。

- また、製品の故障の原因にもなりますので、ご注意ください。

モニターの取っ手を片手でつかんで持ち上げたり、運んだりしない



落下すると、けがの原因になることがあります。

- また、製品の故障の原因にもなりますので、ご注意ください。

モニターやACアダプターに磁気の影響を受けやすいものを近づけない



モニターやACアダプターの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなることがあります。

また、磁気の影響を受けるのでテレビやパソコン等の近くに置かないでください。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す



液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

⚠ 注意

長期間使わないときや、外装ケースのお手入れのときは、電源プラグを抜く



電源プラグ
を抜く

通電状態で放置、保管する
と、絶縁劣化、ろう電など
により、火災の原因にな
ることがあります。

指定のACアダプター
を使う



指定以外のACア
ダプターで使用
すると、火災や感
電の原因になるこ
とがあります。

ACアダプターのDCブ
ラグをなめない



感電のおそれが
あります。
• 特にお子様には
ご注意ください。

スタンドは開ききって設置する



開ききらないで設置する
と、倒れたり落下し、けがの
原因になることがあります。
また、製品の故障の原因に
もなりますので、ご注意くだ
さい。

モニターを設置するときや移動させると
ときは、モニターとスタンドの間に指をはさまないよう
に注意する



けがの原因になることが
あります。
• 特にお子様にはご注意
ください。

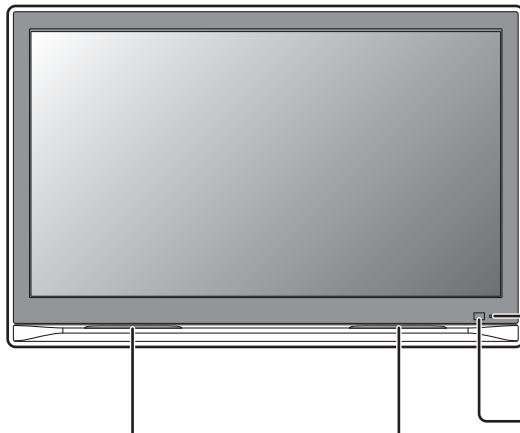
前面パネルが割れた場合は、破片の飛散に注意する



誤って割れた破損部に触るとけがの原因となります。

各部の働き

モニター



ランプ

以下の場合に点滅します。

(緑で) 点滅：電源「入」時

●その後、消灯します。

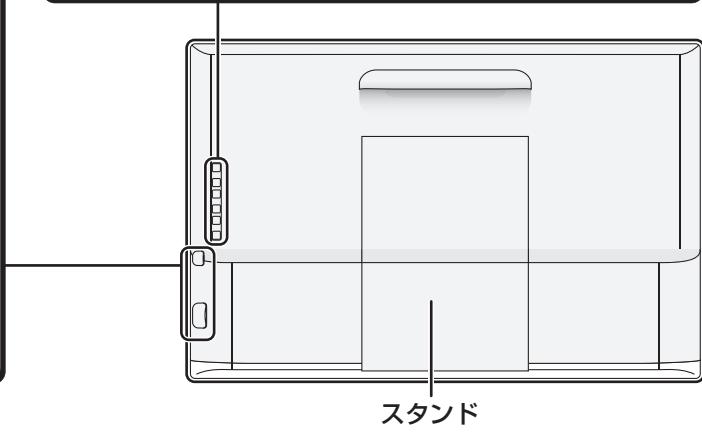
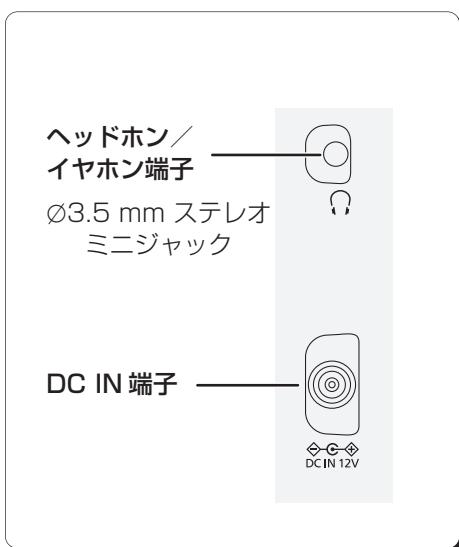
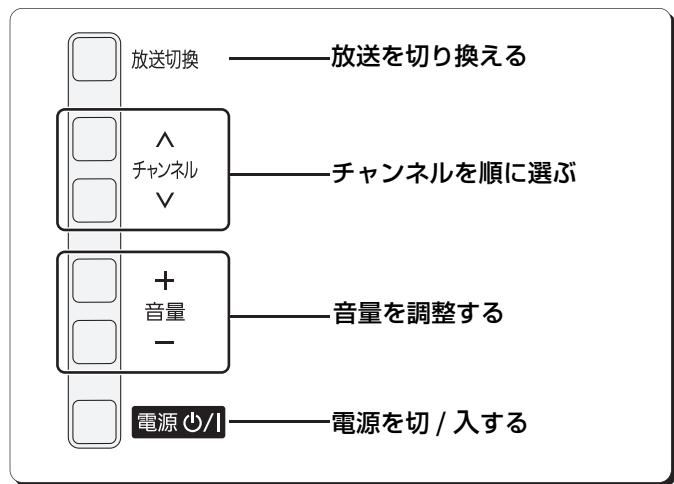


リモコン受信部

受信範囲… 正面：約 4 m 以内

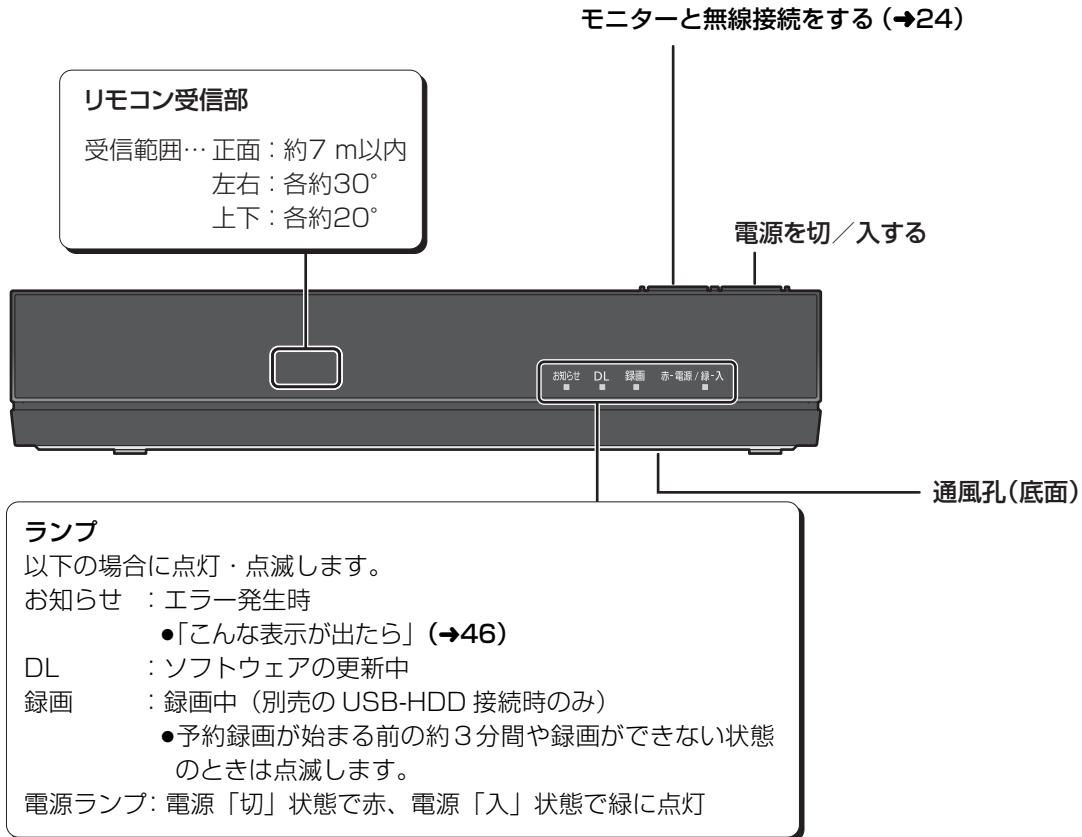
左右：各約 30°

上下：各約 20°

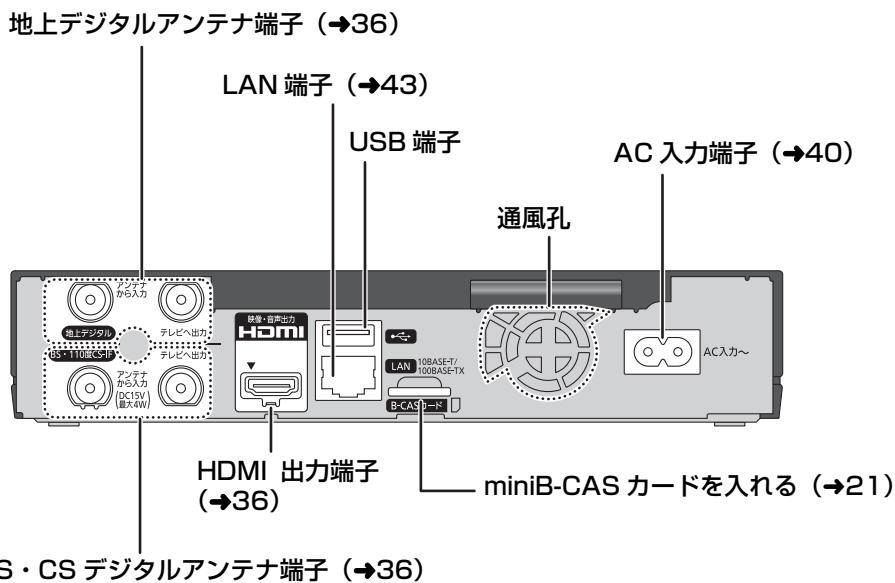


スタンド

チューナー部前面



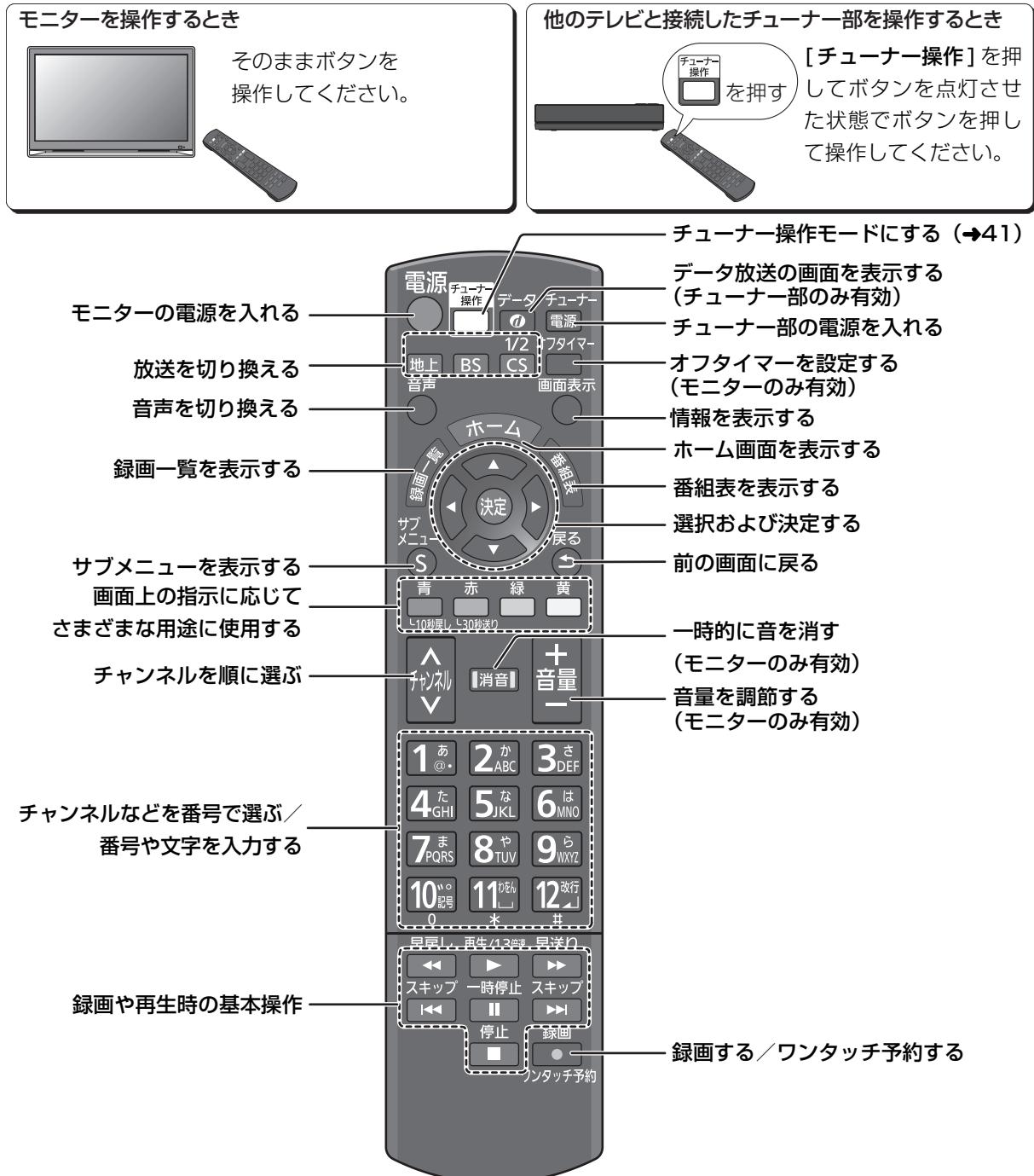
チューナー部背面



各部の働き（続き）

リモコン

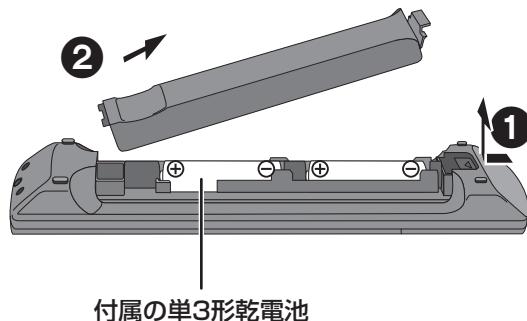
本機のリモコンはモニターとチューナー部の両方を操作できます。
通常はモニターの操作を行うことができます。



他の当社製機器が近くにあるときにモニターやチューナー部以外の機器にも影響してしまうことがあります。
その場合はリモコンモードを変更してください。

- モニターの場合（→33）
- チューナー部の場合（→42）

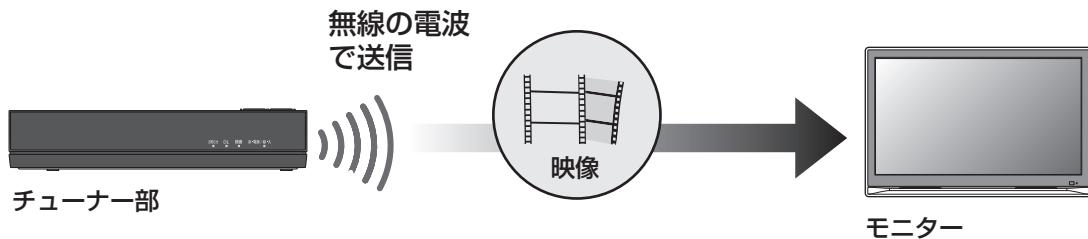
リモコンに電池を入れる



- $\oplus\ominus$ を確認してください。
- 電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池をお使いください。

設置に関するお知らせ

本製品は、チューナー部からの映像をモニターに送信するために、無線の電波を使用しています。



電波は、直線で届く場合と壁などの障害物で反射されて届く場合があり、チューナー部からモニターの間に何も障害物がないときは、直線見通しで約 35 m まで電波が届きます。

ただし、住宅などで使用する場合、壁や天井などの障害物で反射の影響を受けるため、電波の届く範囲は変動し、届きにくくなります。

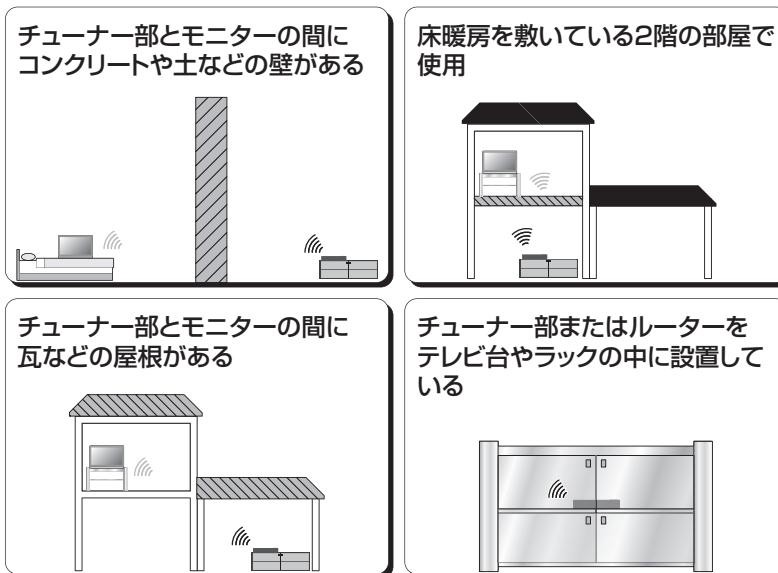
パソコンでのホームページ閲覧などと比較すると、映像の送信は情報量が多くなるため、電波が届きにくくなると、映像が途切れたり、停止しやすくなります。

どんな場合に電波が届きにくいか？

チューナー部とモニターの直線上に、以下のような障害物があると電波は届きにくくなります。

- 金属（鉄筋コンクリート、金属製家具など）
- 水
- 人

住宅でご使用になる場合は、以下のようなときに電波が届きにくくなります。



電波の受信状態を確認するには

「ネットワーク / 無線状態」の画面（→32）で「電波状態（受信レベル）」のインジケーターが4つ以上（受信レベル30以上）点灯していることが、安定した受信状態の目安です。

電波を届きやすくするには

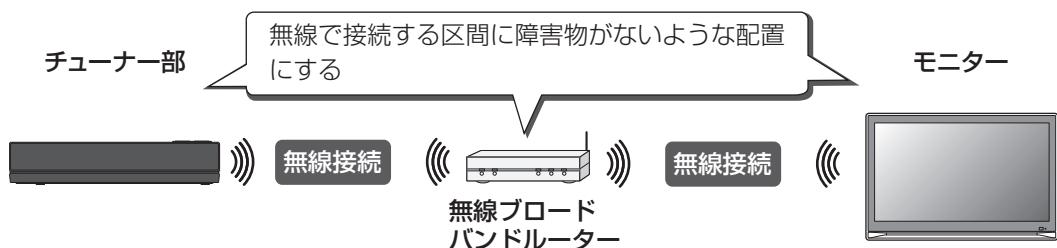
① チューナー部やモニターの設置場所を変更してみる

- 電波が届きにくくなる障害物がないように設置してください。
- チューナー部とモニターの距離が近くなるように設置してください。

② 無線ブロードバンドルーター（無線 LAN アクセスポイント）（市販品）を使って接続してみる（→44）

以下のように、無線ブロードバンドルーターを使って、無線で接続する箇所に障害物がないように設置すると電波が届きやすくなります。

設置例



- 802.11n (2.4 GHz/5 GHz 同時使用可) の無線ブロードバンドルーターをお選びください。5 GHzでのご使用をお勧めします。
- 動作確認済みの無線ブロードバンドルーターについては、下記サポートサイトでご確認ください。
<http://panasonic.jp/support/>

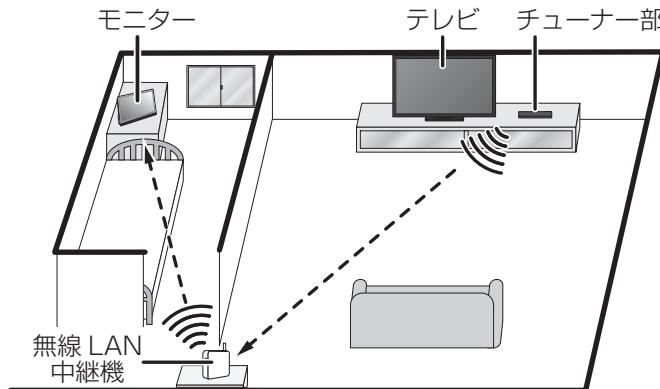
設置に関するお知らせ（続き）

③ 無線 LAN 中継機（別売品）を使う

無線 LAN 中継機を使うと、電波の届く範囲が拡張され、電波が届きやすくなります。

- 無線 LAN 中継機は当社製品 DY-WE10（別売）を推奨します。（2015年3月現在）

モニターとチューナー部を直接接続しているときの設置例



無線 LAN 中継機の設置について

- 電波の届きにくい場所（→18）を避けて、機器同士の距離が近くなるように設置してください。
- モニターを移動させて受信レベルを確認し（→19「電波の受信状態を確認するには」）、電波の状態が良好な位置に無線 LAN 中継機を設置してください。
- 無線 LAN 中継機の設定や詳細に関しては、無線 LAN 中継機の取扱説明書をご覧ください。

モニターの「無線と映像品質の設定」について

チューナー部からモニターに映像を送信するときに、映像が高画質なほど（録画モードがDRで録画した番組など）、電波の通信状態によって映像が途切れたり、停止する可能性があります。

モニターには、チューナー部から映像を送信する際に、画質を落として映像を送信しやすくする「無線と映像品質の設定」（→32）の設定があります。

電波が届きにくい場合は、「自動」または「無線優先」に設定することで、映像の途切れなどを抑えることができます。

- お買い上げ時の設定は「自動」です。

接続と設定を行ってください

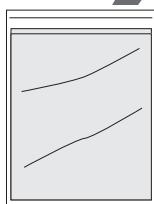
1

ミニビーキャス miniB-CAS カードを挿入する

チューナー部の接続

1

miniB-CAS カードを用意する



取扱説明書
が入った袋

miniB-CAS カード
台紙からはがして
お使いください。



miniB-CAS カード
が貼られた台紙

- miniB-CAS カードに記載されている番号は、契約内容の管理や問い合わせに必要です。メモ（→52）などに控えておいてください。
- チューナー部でも番号を確認できます。内蔵の「取扱説明書」（→4）をご覧ください。

お問い合わせは（紛失時など）

（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ・
カスタマーセンター
TEL：0570-000-250

お知らせ

- カードを取り出すときは、電源コードを抜いた状態で、まっすぐ引き出してください。
- miniB-CAS カード以外は絶対に挿入しないでください。
- miniB-CAS カードは小さいものです。紛失しないようお気をつけください。

2

miniB-CAS カードを奥まで しっかり差し込む

挿入／取り出しをするときは、電源コードが
差し込まれていないことを確認してください。

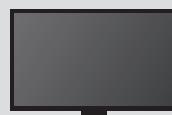


miniB-CAS
カードスロット

角がカットされた側を右に

以下の接続は 34 ページへ

- ・ チューナー部をテレビに接続する
- ・ CATV セットトップボックスを接続する



準備

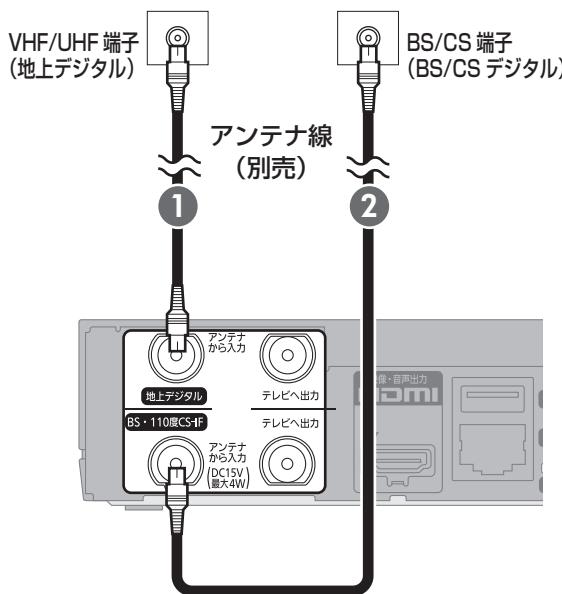
接続と設定を行ってください（続き）

② アンテナケーブルをつなぐ

チューナー部の接続

アンテナ端子が別々の場合

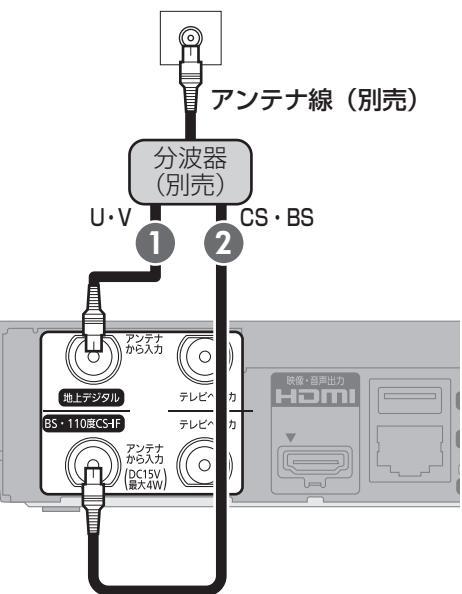
壁のアンテナ端子など



地上デジタル放送のみ視聴する場合、②は不要です。

アンテナ端子がひとつの場合

壁のアンテナ端子など (VHF/UHF・BS/CS 混合)



地上デジタル放送のみ視聴する場合は、
VHF/UHF 端子のみ接続してください。

3 電源コードをつなぐ

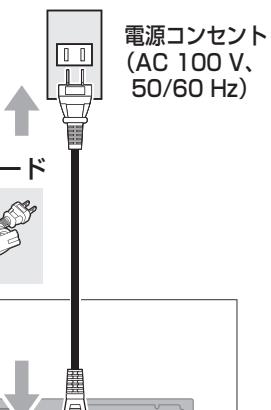
チューナー部の接続

4 モニターを設置する

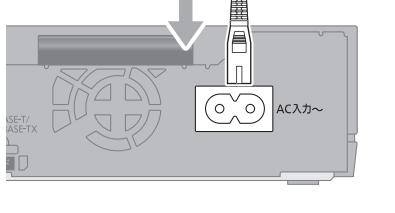
モニターの接続

電源コードをつなぐ

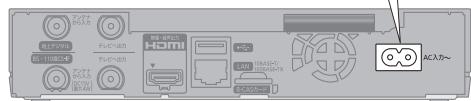
つなぐ



つなぐ



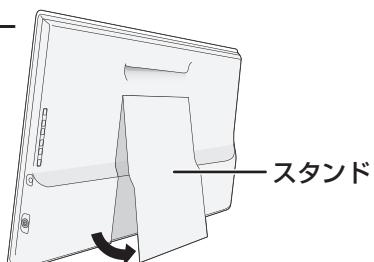
チューナー部



1 スタンドを開き、水平で安定した場所に置く

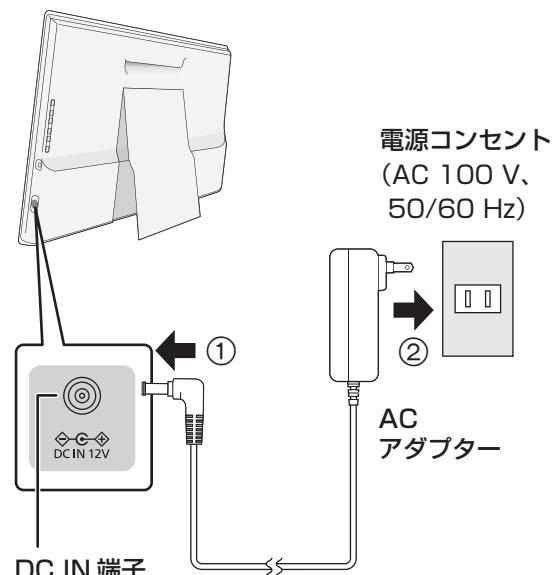
スタンドが止まる位置まで開いてください。

モニター



準備

2 モニターに AC アダプターを接続する



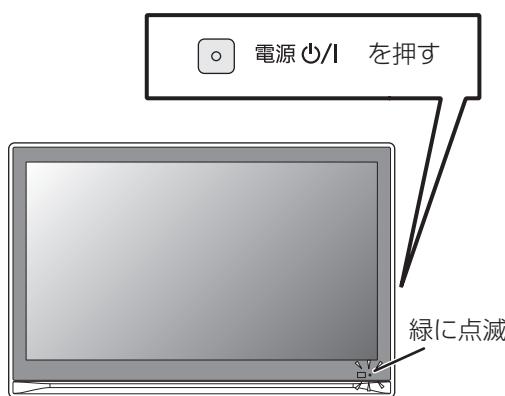
接続と設定を行ってください（続き）

⑤

モニターとチューナー部の
設定をする

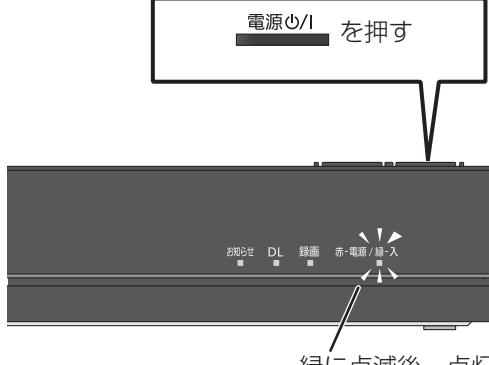
モニターとチューナー部の距離を近づけた状態で設定してください。

1 モニターの電源を入れる

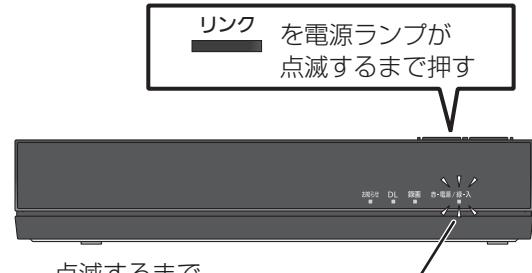


手順 ④ の画面が表示されます。

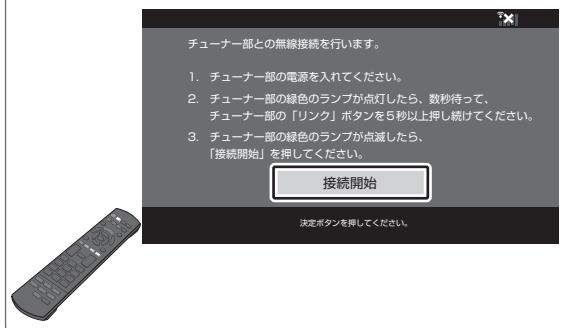
2 チューナー部の電源を入れる



3 チューナー部の [リンク] を 5 秒以上押す



4 「接続開始」を選び、決定を押し以降の設定をする



各設定について詳しくは…

次 ページをご覧ください

モニターの操作については…

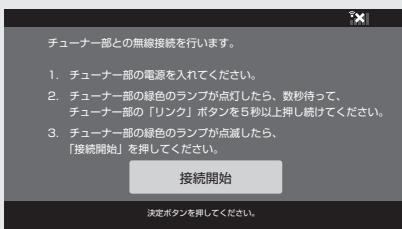
28 ページをご覧ください



準備

リモコンでモニターを操作して以下の設定を行ってください。

① チューナー部とモニターの無線接続



無線接続が失敗する場合は

以下の確認をしてください。

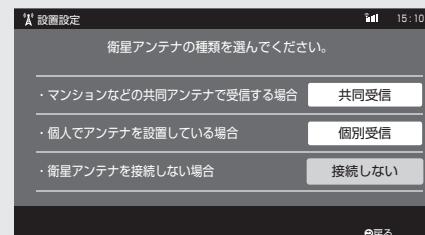
- ・チューナー部の電源が「入」になっていますか。
- ・チューナー部の電源ランプが点滅していますか。点滅していない場合、[リンク] を点滅するまで押してください。
- ・モニターをチューナー部に近づけてみてください。

③ 地上デジタル放送のチャンネル設定

地域設定終了後、チャンネルスキャンを開始します。



④ 衛星アンテナの設定



② お住まい地域の設定

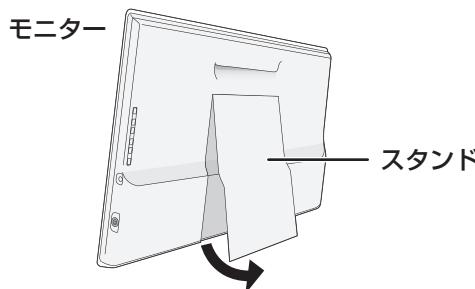
お住まい地域の郵便番号、市外局番、都道府県を設定してください。



モニターを設置する

スタンドを開き、水平で安定した場所に置く

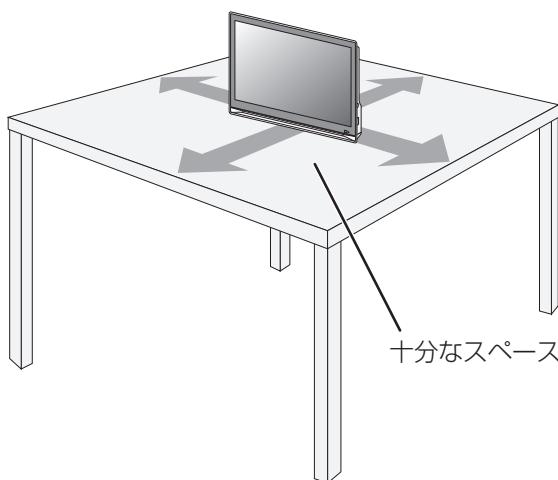
- スタンドが止まる位置まで開いてください。



設置場所について

モニターは、不安定な場所に置かないでください。
テーブルの上などに置いて使用するときは、万一転倒しても落下しないように、モニターの前後左右に十分なスペースを確保して置いてください。

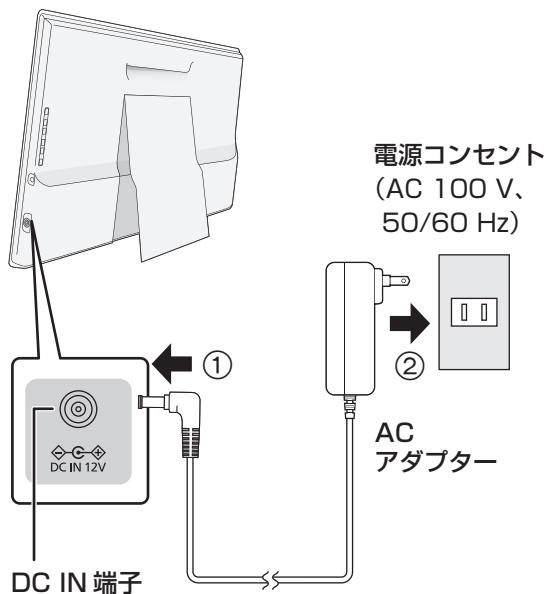
- スタンドを開いたときのモニターの奥行きは
105 mm になります



- 本機は防水仕様ではありません。浴室などでは使わないでください。
- 「つゆつき」(→7) が起こりにくい場所に設置してください。
- 温度変化が起きやすい場所に設置しないでください。

電源を入れる

モニターに AC アダプターを接続する



準備

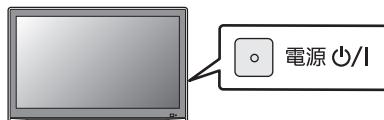
お知らせ

- 電源が切れた状態でも、電力を消費しています。
[詳しくは、内蔵の取扱説明書 (→4) の「仕様」のページをご覧ください]
長期間使用しないときは、節電のため電源プラグをコンセントから抜くことをお勧めします。

電源を入れる / 切る

[電源 \odot/I] を押す

- リモコンの [電源] ボタンでも電源の入り切りができます。



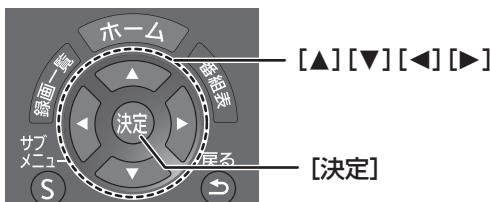
モニター操作はチューナー部の電源が切の状態でも操作できます。

電源を入れてチューナー部と無線接続すると、ステータスバー (→28) にアイコン () が表示されます。

- 本数は受信レベルを表します。
- 本数が多い場合でも、電波干渉などの影響で、映像や音声が途切れたり停止することがあります。

モニター画面の操作について

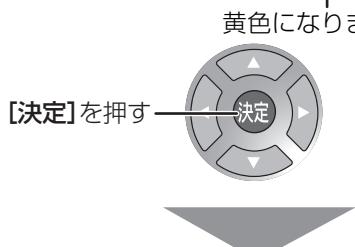
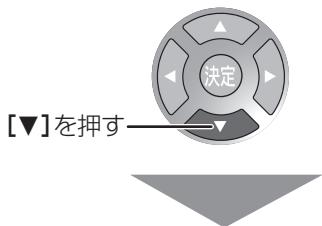
本機は画面に表示されている項目をリモコンの
[▲][▼][◀][▶] で選び、[決定] を押すことで操作を行います。



例えば、「設定」を選びたい場合



黄色になっている項目が、現在選ばれている項目



設定画面が表示されます。

本書では、上記のような操作をする場合、
「設定」を選び、[決定] を押す
と記載しています。

ホーム画面について

モニターでの操作は、ホーム画面から行うことができます。



ホーム画面は、[ホーム] を押したときに表示されます。

- リモコンで電源「入」時にホーム画面を表示させるかどうかの設定ができます。（→ 32「起動画面設定」）

時計表示・オンタイマー機能について

モニターの画面に時計を表示させたり、タイマーの設定を行うことができます。

この機能を利用するには、それぞれ「設定」の「時計表示設定」や「オンタイマー」で設定してください。
(→32)

オフタイマー機能について

設定した時間が経過すると、自動的に電源が切れます。

オフタイマー **を押す**

- 押すごとに設定時間を変更します。
- 数字は電源が切れるまでの残り時間を表します。
- 設定を取り消すには、「オフ」になるまで [オフタイマー] を数回押してください。

内蔵の取扱説明書について

本機の詳しい操作説明などの情報は、内蔵の取扱説明書に記載しています。

内蔵の取扱説明書は、モニターで以下のようにご覧ください。

1 ホーム を押す

2 「設定」を選び、決定 を押す

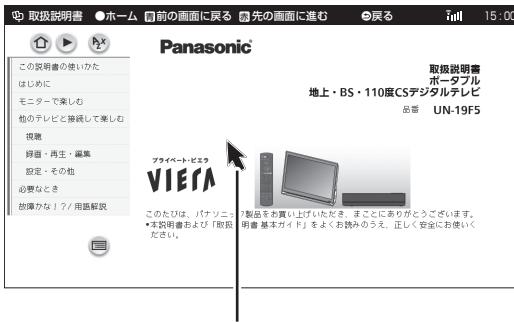
3 「取扱説明書」を選び、決定 を押す

4 知りたい項目を選ぶ

④ 前の画面に戻るには
[青] または [戻る] を押す

④ 先の画面に進むには
[赤] を押す

④ 取扱説明書を終了するには
[ホーム] を押す



[▲][▼][◀][▶] を押して矢印を移動させます。



リンクのある項目の上に移動すると指マークになります。

[決定] を押すと、その項目のリンク先に飛びます。

テレビを見る

放送画面が表示されている場合は、手順3から操作を行ってください。

1 ホーム を押す

2 「テレビを見る」を選び、決定 を押す



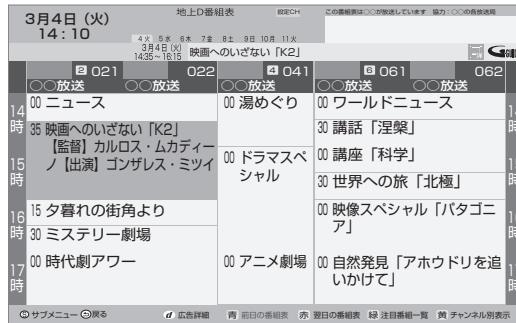
3 地上 BS CS 1/2 を押す

4 1番～12番 放送チャンネルを選んで、
または ▲▼ を押して、
チャンネルを選ぶ

番組表から選局する

1 選局 を押す

2 放送中の番組を選び、決定 を押す



☞ 別の放送の番組表を見るには

[地上][BS][CS] を押す

③ 「今すぐ見る」を選び、決定 を押す

視聴中の操作

[画面表示] を押すと、以下の画面を表示します。



- [緑] を押すと、チャンネル選択ができます。
サブチャンネルを表示させたい場合は、[緑] を押し
たあと、設定を変更してください。
- [黄] を押すと、音声・字幕・画質の設定ができます。

お知らせ

●毎朝定番チャンネルについて

「毎朝定番チャンネル」(→32) を「入」にすると、朝(午前 5時～10時)に初めて電源を入れたとき、視聴履歴を基によく見るチャンネルを自動で選択します。

- 実際の放送よりも数秒遅れてモニターに表示されます。
 - モニターでデータ放送を見ることはできません。
 - 同じチャンネルを連続して8時間視聴すると、画面が一瞬途切れます。
 - 無線状態によっては、視聴中に映像や音声が途切れたり、停止する場合があります。
- [黄] を押したあと、「無線電波状態」から無線状態を確認してください。受信レベルが高いのに映像伝送レベルが低い場合、他の無線機器との干渉が考えられます。
- NHKのBS設置の青ボタン操作メッセージが表示された場合、表示された連絡先にお電話ください。
 - 録画中に放送やチャンネルを切り換えることはできません。

お部屋ジャンプリンクを利用して他の機器の録画番組を再生する

お部屋ジャンプリンク機能

お部屋ジャンプリンク対応機器に記録されたコンテンツの再生などを、ネットワーク接続した機器から行う機能です。

- モニターでは、お部屋ジャンプリンク対応機器に記録されている番組の再生が行えます。(番組によっては、再生できない場合があります)
- お部屋ジャンプリンク対応機器および再生できるコンテンツについては、当社ホームページをご覧ください。http://panasonic.jp/support/r_jump/
- 他社製の機器では使用できない場合があります。
- お部屋ジャンプリンクは、モニターとお部屋ジャンプリンク対応機器のみでは利用できません。モニターとチューナー部と対応機器がネットワークで通信できる状態になっている必要があります。

④ ネットワークの接続と設定をする

(→43 ~ 45)

1 ホーム を押す

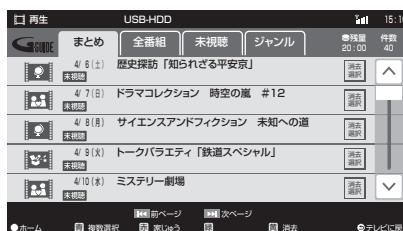
2 「再生する」を選び、決定 を押す



3 赤 を押す

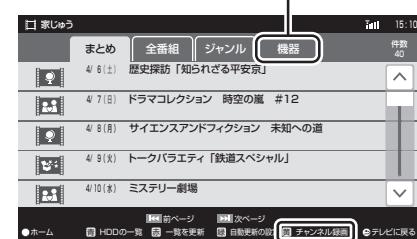
お部屋ジャンプリンクで接続された機器の録画番組をまとめて表示します。

- 「家じゅう」一覧が表示されている場合は、[赤] を押す必要はありません。



4 再生したい番組を選び、決定 を押す

接続された機器ごとの
録画一覧の表示に変更できます



- チャンネル録画対応
- 機器接続時に表示
- [黄] を押すとチャンネル録画した番組を表示します。

お知らせ

- 再生したい番組が表示されないときは、[赤] を押してください。
- チューナー部の電源が「切」のときに、「家じゅう」録画一覧の番組を自動更新します。「自動更新の設定」で、自動更新の間隔を選択できます。
- 「家じゅう」録画一覧に表示できる機器は最大 10 台まで、番組数は 1 台当たり最大 4000 番組までです。
- 音声がLPCMのときなど、正しく再生できない場合があります。
- 標準画質（DVD 画質）で録画した番組は「家じゅう」録画一覧には表示されません。
- 接続する機器によっては、「まとめ」ラベル選択時のまとめ表示に対応していない場合があります。
- 接続する機器が表示されない場合は、接続する機器の設定もご確認ください。

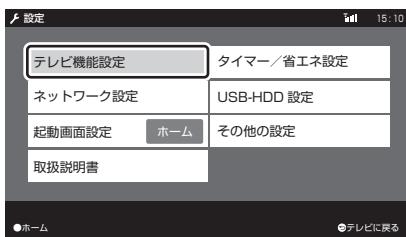
設定する

モニターの設定を変更します。

1 ホームを押す

2 「設定」を選び、決定を押す

3 設定項目を選び、設定内容を変更する



テレビ機能設定

- 録画モード設定
- 無線と映像品質の設定
- 放送設定
- 選局対象
- かんたん設置設定
- マニュアルチャンネル設定
- 消音操作での字幕表示
- 毎朝定番チャンネル
- 時計表示設定
- 時計表示機能
- 表示位置

タイマー／省エネ設定

- オンタイマー
- オンタイマー機能
- 時刻
- 曜日
- 音量
- クイックスタート
- 無操作電源 [切]
- 無信号電源 [切]

ネットワーク設定

- 接続方法の変更
- ネットワーク / 無線状態
- 詳細情報表示
- 原因と改善方法
- 宅外リモート接続設定
- 宅外リモート接続機能
- 機器パスワード初期化
- 「家じゅう」設定
- 「家じゅう」機器一覧
- 録画番組の情報を削除
- 無線設定
- 無線チャンネル
- 倍速モード

USB-HDD 設定

- USB-HDD の登録
- USB-HDD の取り外し
- USB-HDD 管理
- USB-HDD のフォーマット
- USB-HDD 登録の取り消し
- 接続中の USB-HDD 登録の取り消し
- すべての USB-HDD 登録の取り消し

起動画面設定

その他の設定

- システム情報表示
- ソフトウェア更新
- ソフトウェア自動更新
- ソフトウェア更新の実行
- チューナー部の診断
- 設定リセット
- モニターの設定リセット
- モニターとチューナー部の設定リセット
- リモコン設定
- リモコンモード
- リモコンエラー表示

取扱説明書

モニターのリモコン設定をする

モニターの近くに他の当社製テレビなどがあるとき、リモコンで操作すると本機以外の機器にも影響してしまうことがあります。このときは、リモコンモードを変更してください。

(お買い上げ時のリモコンモードは「2」です)

1 ホーム を押す

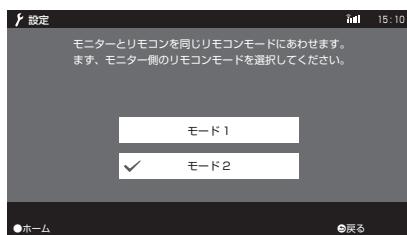
2 「設定」を選び、決定 を押す

3 「その他の設定」を選び、決定 を押す

4 「リモコン設定」を選び、決定 を押す

5 「リモコンモード」を選び、決定 を押す

6 「モード 1」または「モード 2」を選び、決定 を押す

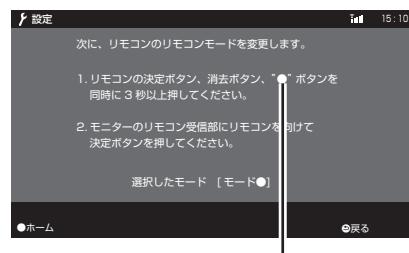


リモコン側のモードを設定する

7 決定 と 消音 を押しながら、

1 あ または 2 か を 3 秒以上

押したままにする



ここに表示されている数字のボタンを押してください。

8 リモコンをモニターに向けて、決定 を押す

9 決定 を押す

他のテレビと接続する

他のテレビにチューナー部を接続すると、より便利な機能が利用できるようになります。



miniB-CAS（ミニビーキャス）カードを挿入する

デジタル放送の受信には、チューナー部への miniB-CAS カード（付属）の常時挿入が必要です。

miniB-CAS カードの挿入方法については 21 ページをご覧ください。

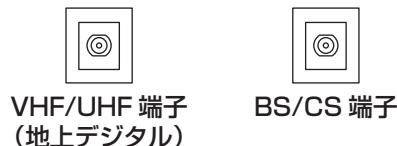
テレビやアンテナと接続する

ご利用になる放送に従って、必要なアンテナ線を接続してください。

- すべての接続が終わったらあとは、必ず電源コードをつないでおいてください。
電源コードを抜いているとテレビで放送の受信ができない、または映りが悪くなる場合があります。

接続するご家庭のアンテナ端子に合わせて接続を行ってください。

アンテナ端子が
別々の場合



アンテナ端子が
ひとつの場合



セットトップボックス
(CATV・光回線など)
を利用する場合



すでにテレビとレコーダーが接続されている場合 (→39)

お知らせ

- アンテナ線をアンテナに直接接続する場合は、アンテナプラグが外れないようにF型接栓をご使用になることをお勧めします。F型接栓は、緩まない程度に手で締め付けてください。締め付け過ぎると、チューナー部内部が破損するおそれがあります。
- 分配器を使ってチューナー部とテレビにBS・110度CSデジタルハイビジョンアンテナを接続する場合は、アンテナに電源を供給するために全端子電流通過型の分配器を使用してください。
- 接続状態により、分波器や専用のブースターなど別売の部品や加工が必要になることがあります。接続のしかたがわからない、接続しても映らないなどの場合、販売店にご相談ください。



混合している複数の電波をBS・CSと
UHF・VHFに分波します。



混合している複数の電波をチューナー部と
テレビなど複数の機器に分配します。

- HDMIケーブルは、「ハイスピードHDMIケーブル」をお買い求めください。HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。当社製HDMIケーブルのご使用をお勧めします。
- HDMIケーブルが端子から外れないようにしっかり接続してください。

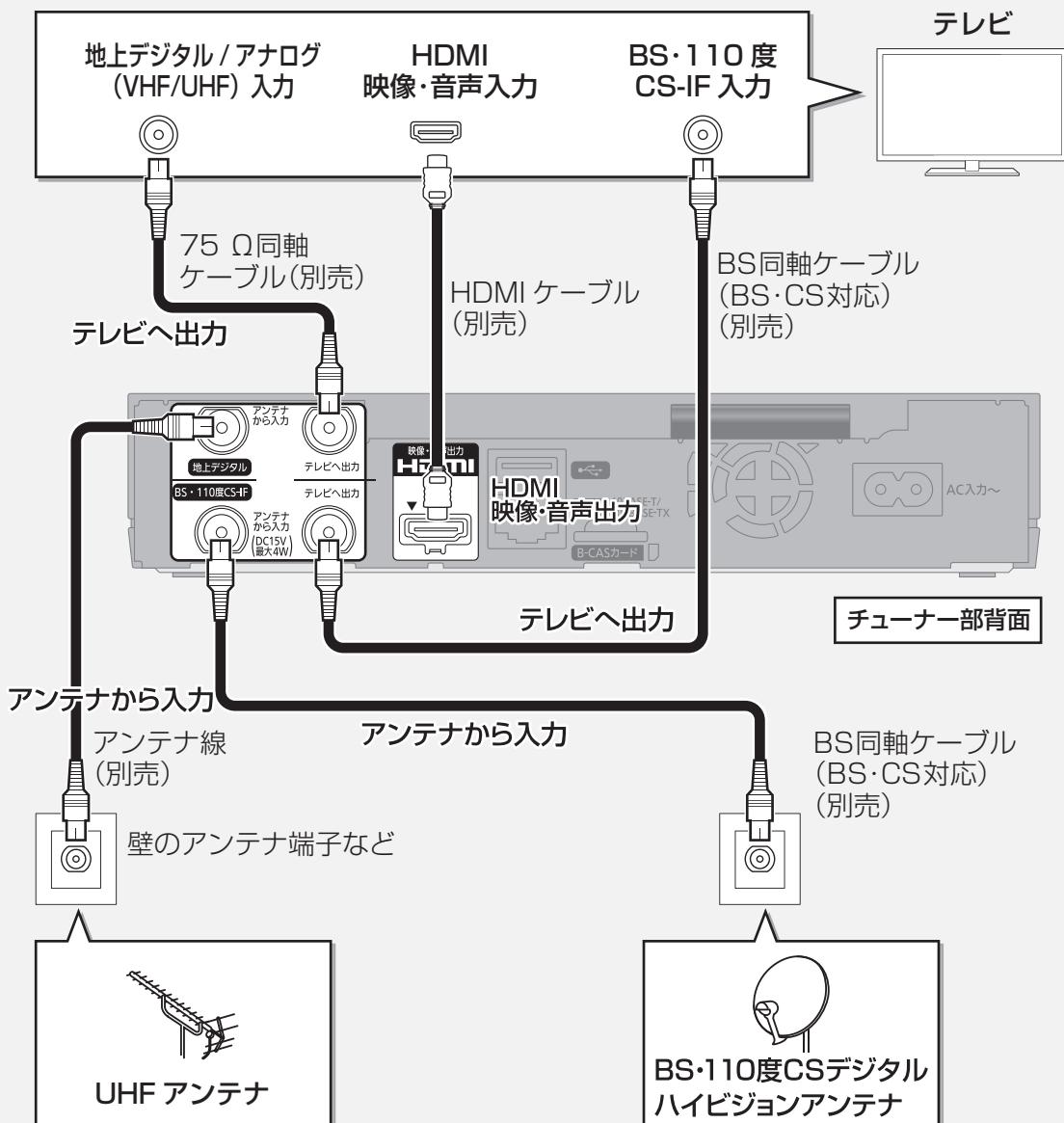
本機とテレビとの接続には、HDMIケーブル（別売）が必要です。

本機はアナログ出力端子がありません。HDMI端子のないテレビでは、ご利用になれません。

他のテレビと接続する（続き）

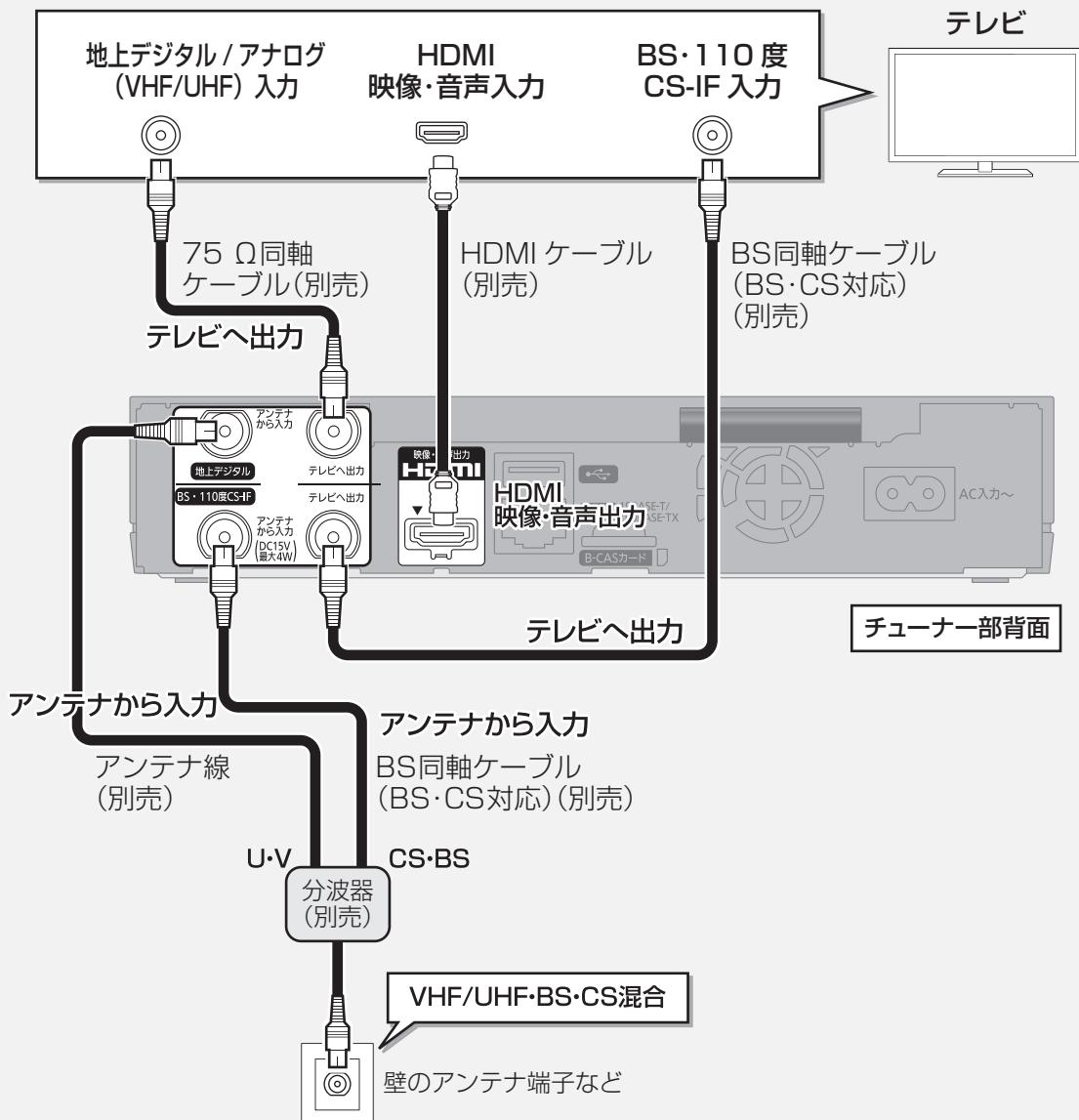
A

アンテナ端子が別々の場合



B

アンテナ端子がひとつの場合



他のテレビと接続する

他のテレビと接続する（続き）

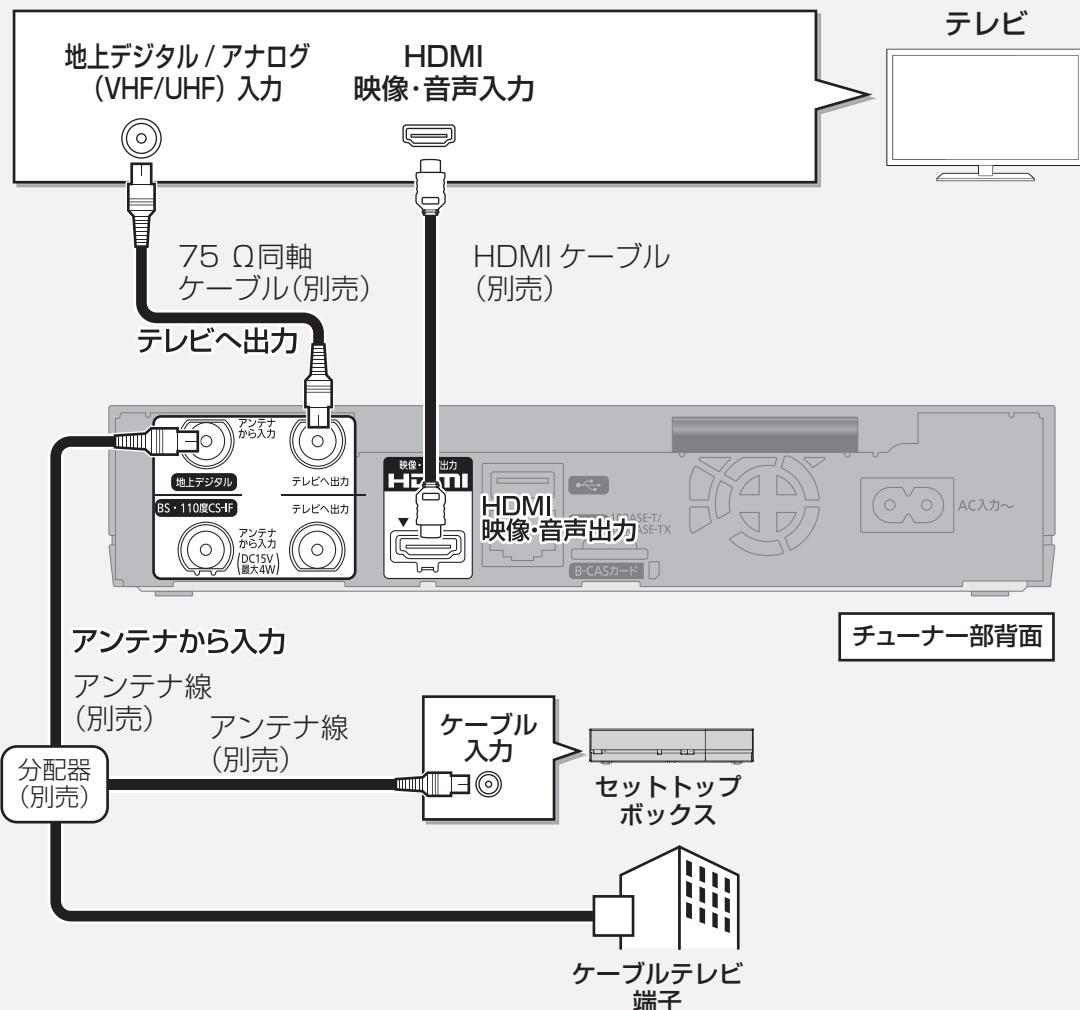
C

セットトップボックス（CATV・光回線など）を利用する場合

CATVの接続方法や、受信できる放送はさまざまです。詳しくはご契約のCATV会社にご相談ください。

このページでは、CATVの地上デジタル放送の信号方式がパススルー方式^{*}の場合の接続を紹介しています。

* CATV会社がデジタル放送を再送信する伝送方式です。セットトップボックスを経由せず本機で直接受信できます。

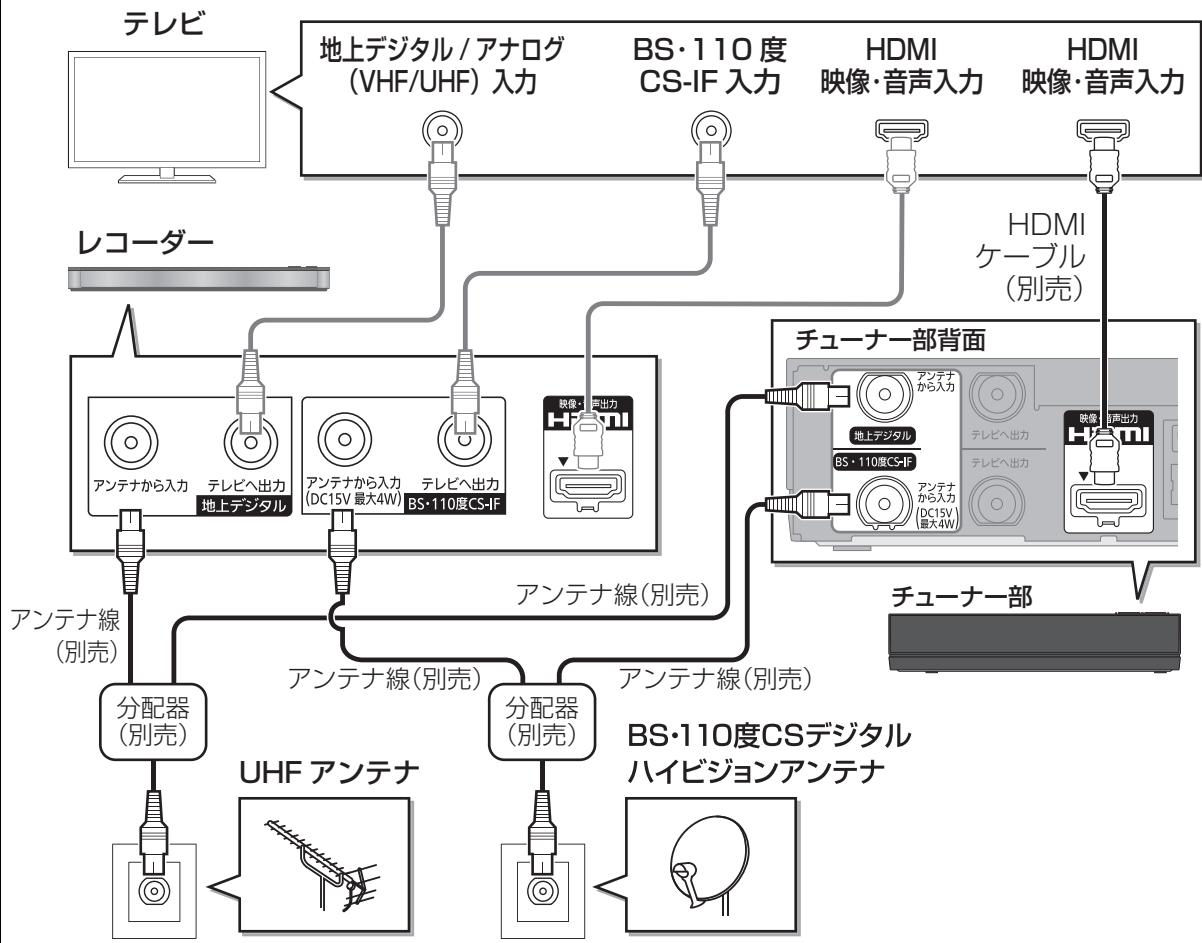


•BS・110度CSデジタル放送を受信するには

BS・CSデジタル放送を受信できる衛星アンテナをBS・110度CS-IF入力端子に接続してください。

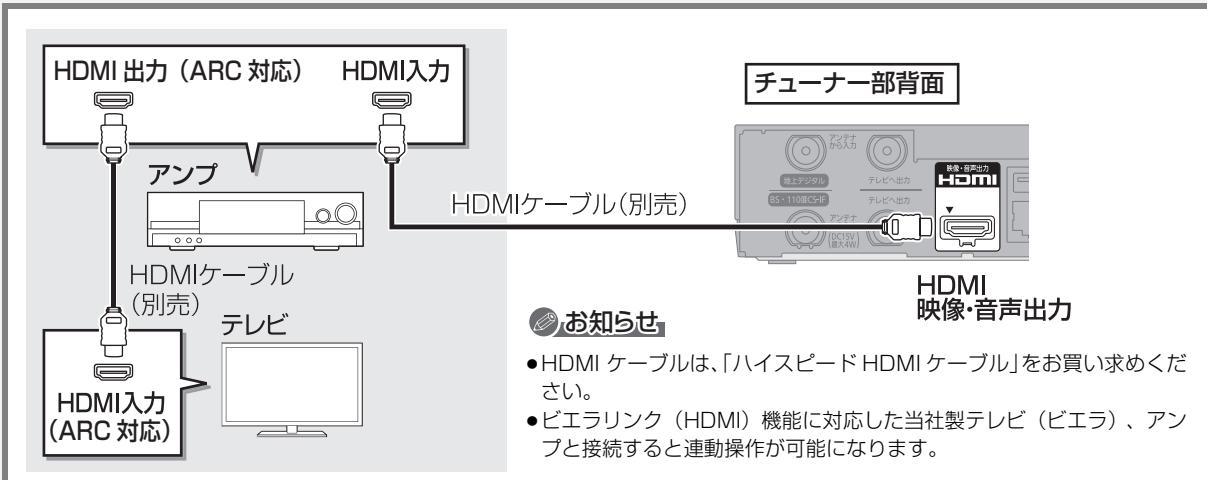
すでにテレビとレコーダーが接続されている場合

以下の接続でテレビとレコーダーとチューナー部を接続してください。



アンプと接続する

アンプと接続して、ホームシアターなどを楽しむことができます。



他のテレビと接続する（続き）

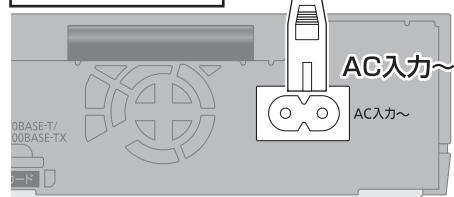
電源コードと接続する

すべての接続が終わったら、接続してください。

電源コンセント
AC100 V
50/60 Hz

電源コード（付属）

チューナー部背面



☞ ネットワークに接続する場合は、電源コードを接続する前に、機器に応じた接続をしておいてください。（→43、44）

☞ 長期間使用しないとき

節電のため、電源コードを電源コンセントから抜いておくことをお勧めします。電源を切った状態でも、電力を消費しています。

[詳しくは、内蔵の取扱説明書（→4）の「仕様」のページをご覧ください]

●電源コードを抜いている場合：

- ・自動的に行われる番組表などの情報受信や時刻情報の取得はできません。
- ・テレビで放送の受信ができない、または映りが悪くなる場合があります。

☞ 接続終了後は

チューナー部とモニターの設定を行ってください。（→24）

チューナー部の操作について

チューナー部は付属のリモコンをチューナー操作モードに変更して操作することができます。

チューナー操作モードにする

1 リモコンの を押す

- ボタンが点灯し、チューナー操作モードになります。

2 下記のボタンでチューナー部を操作する



[チューナー電源] は、[チューナー操作] を押さなくても操作できます。

- 再度、[チューナー操作] を押すか、約30秒間何も操作しなかった場合、[チューナー操作] は消灯し、チューナー操作モードは終了します。

他のテレビと接続する（続き）

チューナー部のリモコン設定をする

チューナー部の近くに当社製ブルーレイディスクレコーダーなどがあるとき、リモコンでチューナー部の操作をすると、チューナー部以外の機器にも影響してしまうことがあります。このときは、リモコンモードを変えてください。

（お買い上げ時のリモコンモードは「2」です）

1  チューナー操作 を押す

2 ホーム を押す

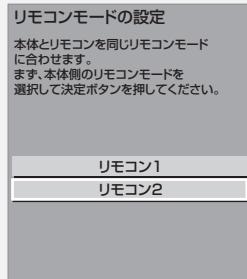
3 「設定する」を選び、決定 を押す

4 「初期設定」を選び、決定 を押す

5 「設置設定」を選び、決定 を押す

6 「リモコンモード」を選び、決定 を押す

7 「リモコン1」または「リモコン2」を選び、
決定 を押す



リモコン側のモードを設定する

8 決定 を押しながら、

1 あ または 2 か を 3 秒以上押したままにする

リモコンモードの設定
本体側のリモコンモード：リモコン○
次に、リモコン側の設定を行います。

1. リモコンの決定ボタンと数字ボタン○を同時に3秒以上押してください。
リモコン側の設定が完了します。

2. 続いて、リモコンを本体に向けて、画面表示が切り換わるまで決定ボタンを3秒以上押してください。

9 リモコンを本体に向けて、決定 を 3 秒以上押す

●本機側とリモコン側のリモコンモードの設定が完了します。

10 決定 を押す

●リモコンモードの設定を終了します。

ネットワークの接続をする

無線プロードバンドルーターなどを使ってチューナー部とモニターを接続すると、以下のネットワーク機能が利用できるようになります。

モニターで利用

- 他の機器とのお部屋ジャンプリンク(→31)
- 宅外リモート機能

チューナー部で利用

- 他の機器とのお部屋ジャンプリンク(→31)
- パソコンから録画などの操作、宅外リモート機能、1カ月番組表・注目番組、ディモーラ・ミモーラサービスなどは、内蔵の「取扱説明書」をご覧ください。(→4)

お買い上げ時の接続では…



ネットワーク機能は利用できません。

- 動作確認済みの無線プロードバンドルーター(無線LANアクセスポイント)については、下記サポートサイトでご確認ください。
<http://panasonic.jp/support/>

接続方法	接続図	設定
A プロードバンド ルーターと 有線接続	<p>The diagram shows a monitor connected wirelessly to a tuner unit. The tuner unit is then connected to a broadband router via a LAN cable. The broadband router is also connected to a communication terminal (modem) and a connecting device (laptop). A note at the bottom says: "接続に関する詳細は、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。" (For details on the connection, please refer to the operating instructions of the connected equipment.)</p> <p>チューナー部背面</p>  <p>LAN (10BASE-T/ 100BASE-TX)</p> <p>不要</p> <p>お買い上げ時の 設定(→45) にしておいて ください。</p>	<p>モニター</p> <p>チューナー部</p> <p>通信端末 (モデムなど)</p> <p>接続機器</p> <p>接続に関する詳細は、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。</p> <p>ブロードバンド 接続環境</p> <p>インターネット</p> <p>※1 宅外リモート機能を利用する場合、無線プロードバンドルーターで接続する必要があります。</p> <p>※2 接続機器とルーターの接続は、LANケーブルまたは無線LANで接続してください。</p>

- 有線接続時は、100BASE-TX 対応のプロードバンドルーターをお使いください。

ネットワークの接続をする (続き)

接続方法	接続図	設定
<p>B 無線ブロードバンドルーター(無線 LAN アクセスポイント)と無線接続</p>	<p>インターネット プロードバンド接続環境</p> <p>通信端末 (モ뎀など)</p> <p>接続機器</p> <p>接続に関する詳細は、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。</p> <p>※ 接続機器とルーターの接続は、LAN ケーブルまたは無線 LAN で接続してください。</p>	<p>必要</p> <p>ネットワーク設定 (→45) を行ってください。</p>
<p>C お部屋ジャンプリンク機器と有線接続</p>	<p>モニター</p> <p>チューナー部</p> <p>チューナー部背面</p> <p>LAN (10BASE-T/100BASE-TX)</p> <p>お部屋ジャンプリンク対応機器</p> <p>接続に関する詳細は、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。</p> <p>この接続で利用できるネットワーク機能は、「他の機器とのお部屋ジャンプリンク」のみです。 (→31)</p>	<p>不要</p> <p>お買い上げ時の設定 (→45) にしておいてください。</p>

ネットワークの接続方法の変更時に

- チューナー部に LAN ケーブルを抜き差しする場合は、本機の電源を切り、電源コードを抜いた状態で行ってください。
- 録画などチューナー部が動作中は、ネットワーク設定を変更できません。

LAN ケーブルをご使用時に

- 接続後にテレビの映りが悪くなったときは、LAN ケーブルとアンテナケーブルを離してみてください。
それでも良くならない場合は、シールドタイプの LAN ケーブルのご使用をお勧めします。
- カテゴリー 5 (CAT5) 以上の LAN ケーブルのご使用をお勧めします。

ネットワークの設定をする

無線ブロードバンドルーターを使って、チューナー部とモニターを無線で接続するときのみ設定が必要です。



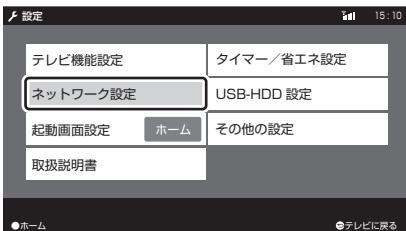
44 ページの **B** の接続をする場合に設定が必要です。

1 ホーム を押す

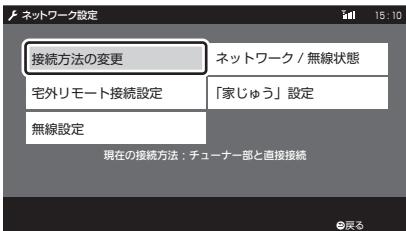
2 「設定」を選び、決定 を押す



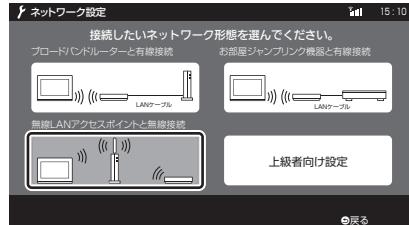
3 「ネットワーク設定」を選び、決定 を押す



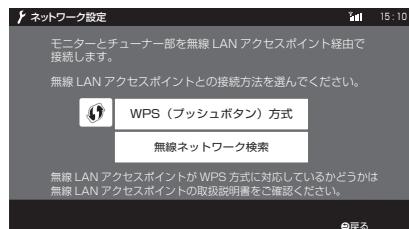
4 「接続方法の変更」を選び、決定 を押す



5 「無線 LAN アクセスポイントと無線接続」を選び、決定 を押す



6 接続方法を選び、決定 を押す



無線プロードバンドルーター（無線 LAN アクセスポイント）が WPS (Wi-Fi Protected Setup™) に対応している場合は、「WPS (ブッシュボタン) 方式」を選択すると、簡単に設定することができます。
対応していない場合は「無線ネットワーク検索」を選んで、設定してください。

7 画面に従って、設定する

■ モニターとチューナー部をお買い上げ時の状態に戻すには

左記手順 4 のあと

- ① チューナー部の [電源 \downarrow/\uparrow] を押して、電源を入れる
- ② チューナー部の [リンク] を 5 秒以上押す
 - 電源ランプが点滅します。
- ③ モニターの「接続開始」を選び、[決定] を押す

お知らせ

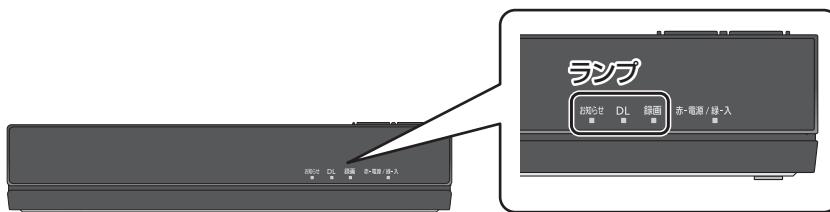
- WPS とは、無線 LAN 機器との接続やセキュリティに関する設定を簡単に実行ができる機能です。お持ちの無線プロードバンドルーター（無線 LAN アクセスポイント）が対応しているかどうかは、ルーターの取扱説明書をご覧ください。



こんな表示が出たら

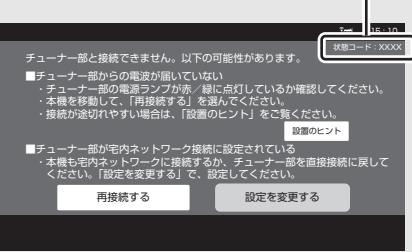
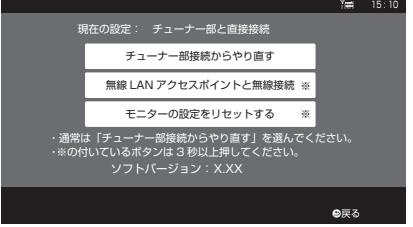
チューナー部

チューナー部のランプの状態に応じて、下記の項目を確かめてください。



本体のランプの状態	調べるところ・原因・対策
	<ul style="list-style-type: none">•チューナー部とリモコンのリモコンモードが異なっているため、チューナー部を操作できません。以下の操作でチューナー部の設定にリモコンを合わせてください。 ① [チューナー操作] を押して、チューナー操作モードにする ② [決定] を押しながら、[1]または[2]を3秒以上押したままにしてリモコンモードを変更する。(チューナー部に合った設定になるまで数字ボタンを順番に選んでお試しください)
	<ul style="list-style-type: none">•ダウンロード実行中またはソフトウェアの更新中です。“DL”ランプが消えるまで、チューナー部を操作することはできません。故障の原因となりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。
	<ul style="list-style-type: none">•チューナー部の内部温度が上昇しています。安全のため動作停止中です。ランプが消えるまで（約30分間）お待ちください。できるだけ風通しのよいところに設置し、背面の通風孔の周りを空けてください。
	<ul style="list-style-type: none">•チューナー部が正常に動作しません。チューナー部本体の[電源Off/I]を押し、電源を切／入してください。それでも症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	<ul style="list-style-type: none">•本体動作に異常が確認されたため、正常に戻すための復旧動作中です。ランプが消えれば使えます。消えない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	<ul style="list-style-type: none">•アンテナ電源の異常です。アンテナ線内で芯線と編組線が接触（タッチ）していないか確認してください。
	<ul style="list-style-type: none">•(チューナー部の[リンク]を押したとき) チューナー部の無線接続の準備ができていません。しばらく待ってから[リンク]を押してください。 録画中やモニターと接続済みの場合も点滅します。

モニター

モニターの表示	調べるところ・原因・対策
<p>電源「入」時に</p>  <p>状態コード 状態コード: XXXX</p> <p>■チューナー部から電波が届いていない ・チューナー部の電源ランプが赤／緑に点灯しているか確認してください。 ・本機を移動して、「再接続する」を選んでください。 ・接続が途切れやすい場合は、「設定のヒント」をご覧ください。</p> <p>■チューナー部が宅内ネットワーク接続に設定されている ・本機も宅内ネットワークに接続するか、チューナー部を直接接続に戻してください。「設定を変更する」で、設定してください。</p> <p>再接続する 設定を変更する</p>	<p>接続に失敗しています。 画面右上に表示される状態コードをご確認ください。</p> <p>「D011」：モニターとチューナー部との無線接続ができていません。</p> <p>「D001」：モニターとチューナー部との無線接続はできているが、通信ができていません。</p> <p>「AO11」：モニターと無線アクセスポイントとの無線接続ができていません。</p> <p>「AO01」：チューナー部と無線アクセスポイントとの無線接続ができていない、またはモニターとチューナー部との無線接続はできているが、通信ができていません。</p> <p>画面の指示に従って操作してください。</p> <ul style="list-style-type: none">チューナー部のネットワーク設定を変更した場合、モニター側でもネットワーク設定の変更が必要です。 「設定を変更する」を選んで、設定を変更してください。 無線ブロードバンドルーターを使って接続する場合、「無線 LAN アクセスポイントと無線接続」を選んでください。  <p>現在の設定 : チューナー部接続からやり直す</p> <p>無線 LAN アクセスポイントと無線接続 *</p> <p>モニターの設定をリセットする *</p> <p>・通常は「チューナー部接続からやり直す」を選んでください。 ・*の付いているボタンは3秒以上押してください。 ソフトバージョン : XXX</p> <p>戻る</p> <ul style="list-style-type: none">モニターとチューナー部がどのように接続されているかわからぬ場合、「設定を変更する」を選んだあと、「チューナー部接続からやり直す」を選び、いったんお買い上げ時の状態に戻してください。宅内ネットワークに接続する場合は、ネットワークの接続と設定を変更してください。(→43~45)設定を変更してもうまくつながらない場合、お買い上げの販売店にご相談ください。(上記画面のソフトバージョンをお聞きすることができます)

?

必要なとき

故障かな!?

修理を依頼される前に、下記の項目を確かめてください。これらの処置をしても直らないときや、下記の項目以外の症状は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

「故障かな!?」の内容は、本体に組み込まれている取扱説明書（→4）も併せてご覧ください。

次のような場合は、故障ではありません

- モニターの電源切／入時にスピーカーやヘッドホンから聞こえる音
- モニターの液晶画面の0.01%の画素欠けや常時点灯
- チューナー部の電源切／入時の音
- 無線の状態によっては、モニターでの視聴や再生中に映像や音声が途切れたり、停止する場合があります。

操作を受け付けなくなったときは…

- 各種安全装置が働いていることがあります。

① [電源_{Off/I}] を押し、電源を切る

- モニターが切れない場合は、約3秒間押したままにすると強制的に切れます。
(それでも切れない場合は、ACアダプターを取り外し、約1分後再び取り付ける)

モニター



[電源_{Off/I}] を
3秒以上押す

- チューナー部が切れない場合は、約3秒間押したままにすると強制的にリセットされます。
(それでもリセットされない場合は、電源コードをコンセントから抜き、約1分後再びコンセントに差し込む)

チューナー部



[電源_{Off/I}] を
3秒以上押す

② [電源_{Off/I}] を押し、電源を入れる

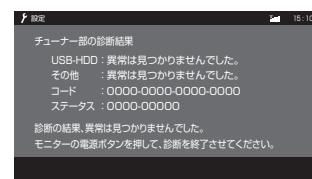
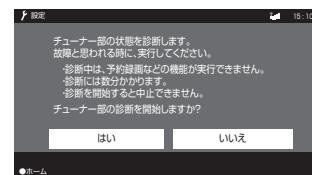
上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

本体の診断について

故障と思われる症状が出たときは、下記の操作を行って機器の状態を診断することができます。

- ① [ホーム] を押す
 - ② 「設定」を選び、[決定] を押す
 - ③ 「その他の設定」を選び、[決定] を押す
 - ④ 「チューナー部の診断」を選んだ状態で、[決定] を3秒以上押す
 - ⑤ 「はい」を選び、[決定] を押す
- 診断を開始します。

例)



- すべての故障を診断できるわけではありません。あらかじめご了承ください。
- チューナー部本体でも本体の診断を行うことができます。詳しくは、内蔵の取扱説明書をご覧ください。（→4）

チューナー部を修理依頼するとき

●USB-HDDに関するお願い

USB-HDDをお使いになっていた場合、チューナー部の修理過程においてUSB-HDDの登録が取り消される場合があります。

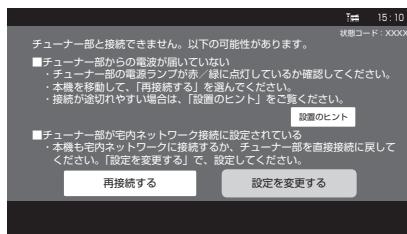
再度登録し直せばお使いいただけるようになりますが、記録内容はすべて失われます。このような場合、記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。

モニター

操作ができない

チューナー部との接続ができない

- チューナー部の電源コードがつながっていますか。モニターを操作するには、チューナー部の電源コードが接続されている必要があります。
- チューナー部との無線接続が正しく設定されていますか。設定をやり直す場合（→24、25、45）
- チューナー部の「ネットワーク通信設定」を変更していませんか。その場合は、モニター側でもネットワークの設定が必要です。（→45）
- チューナー部との接続に失敗すると下記の画面が表示されます。画面の指示に従い、再接続してください。



- チューナー部の電源ランプが赤に点灯していない場合は、一度チューナー部の【電源 オ/I】を3秒以上押して、リセットしてください。（→15）
- 再度、接続しても失敗する場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ご使用されるインターネットサービスによってはIPアドレスが各機器に個別に割り振られない場合があり、その場合、本機はモニターとチューナー部の接続ができません。有線LANケーブルを外してチューナー部との接続が改善されるときは上記に該当する場合がありますのでインターネット事業者にお問い合わせください。

映像が映らない

映像が乱れる

- 以下の場合、テレビ放送受信時に映像が乱れたり、映像が映らないことがあります。故障ではありません。
 - ・気象条件が悪いためによる受信映像の乱れ
 - ・BS/CS放送の一時的な休止による受信障害

自動的に電源が切れた

- 「無操作電源[切]」（→32）や「無信号電源[切]」（→32）が働いている場合、自動的に電源が切れます。
- モニターの温度が上昇すると、安全のため自動的に電源が切れます。高温になる場所でのモニターの使用はしないでください。

リモコン

リモコンが働かない（モニターの場合）

- モニターとリモコンのリモコンモードが異なっていますか。電池を交換すると、リモコンモードを合わせ直す必要がある場合があります。
【決定】と【消音】を押しながら、【1】または【2】を3秒以上押したままにしてリモコンモードを変更してください。（モニターに合った設定になるまで数字ボタンを順番に選んでお試しください）
- 【チューナー操作】が点灯しているときはモニターを操作できません。【チューナー操作】を押してボタンを消灯させてください。

リモコンが働かない（チューナー部の場合）

- チューナー部とリモコンのリモコンモードが異なっていますか。電池を交換すると、リモコンモードを合わせ直す必要がある場合があります。
 - ①【チューナー操作】を押してボタンを点灯させる。
 - ②【決定】を押しながら、【1】または【2】を3秒以上押したままにしてリモコンモードを変更する。（チューナー部に合った設定になるまで数字ボタンを順番に選んでお試しください）
- 【チューナー操作】が消灯しているときはチューナー部を操作できません。【チューナー操作】を押してボタンを点灯させてください。

ネットワーク

接続機器との通信ができなくなった

- 通信が混み合っている場合があるため、しばらく待って再度実行してください。
- ブロードバンドルーターのリセットを行ってみてください。
- ネットワークに関する詳細は、内蔵の取扱説明書（→4）や当社ホームページ（→4）をご覧ください。

?

必要なとき

著作権など

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- ロヴィ、Rovi、G ガイド、G-GUIDE、および G ガイドロゴは、米国 Rovi Corporation および／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
G ガイドは、米国 Rovi Corporation および／またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。
米国 Rovi Corporation およびその関連会社は、G ガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、G ガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- 電子番組表の表示機能に G ガイドを採用していますが、当社が G ガイドの電子番組表サービスを保証するものではありません。
- 天災、システム障害、放送局側の都合による変更などの事由により、電子番組表サービスが使用できない場合があります。
当社は電子番組表サービスの使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- HDAVI Control™ は商標です。
- “Wi-Fi CERTIFIED™” ロゴは、“Wi-Fi Alliance®” の認証マークです。
- Wi-Fi Protected Setup™ 認証マークは、“Wi-Fi Alliance®” の認証マークです。
- “Wi-Fi®” は “Wi-Fi Alliance®” の登録商標です。
- “Wi-Fi Protected Setup™”、“WPA™”、“WPA2™” は “Wi-Fi Alliance®” の商標です。
- 日本語変換はオムロンソフトウェア（株）のモバイル Wnn を使用しています。
“Mobile Wnn” © OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License 及び VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
 - AVC 標準及び VC-1 標準に準拠する動画（以下、AVC/VC-1 ビデオ）を記録する場合
 - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合
 - ライセンスを受けた提供者から入手された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (<http://www.mpeglal.com>) をご参照ください。
- チューナー部がテレビ画面に表示する平成丸ゴシック体は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可なく複製することはできません。
- この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、下記をご参照ください。
 - チューナー部のソフトウェアについて
リモコンの [ホーム] ボタンを押し、“全機能から選ぶ” → “設定する・その他の機能” → “メール／情報・診断コード” → “メール／情報” → “ID 表示” → “ソフト情報”
 - モニターのソフトウェアについて
リモコンの [ホーム] ボタンを押し、“設定” → “その他の設定” → “システム情報表示” → “ソフト情報表示へ”

- メールやデータ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、チューナー部が記憶します。万一、チューナー部の不都合によって、これらの情報が消失した場合、復元是不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。
- この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。
- 本機は 2015 年 3 月現在のデジタル放送規格の運用条件（著作権保護内容）に基づいて設計されています。
- あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのはかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。



VIERA Link

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。適度の音量にして隣り近所へ配慮しましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。



音のエチケット
シンボルマーク

放送やネットワークのサービス事業者が提供する以下のサービス内容は、サービス提供会社の都合により、予告なく変更や終了することがあります。サービスの変更や終了にかかるいかなる損害、損失に対しても当社は責任を負いません。

- 番組表表示や、1カ月の番組表、注目番組などの電子番組表サービス
- 宅外リモート接続機能
- その他の放送・ネットワーク事業者が提供するサービス

モニターのソフトウェアについて

本製品には、以下のソフトウェアが含まれています。

- (1) パナソニックにより、又はパナソニックのために開発されたソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
- (3) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1)に基づきライセンスされたソフトウェア
- (4) LGPL V2.1以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記(3)と(4)に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての默示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。詳細は、本製品のソフト情報表示画面から所定の操作により表示されるライセンス条件をご参照ください。

パナソニックは、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口：oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

また、これらソースコードおよび著作権者の情報は、以下のウェブサイトからも自由に無料で入手することができます。

<http://panasonic.net/avc/oss/>

チューナー部のソフトウェアについて

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニック株式会社（パナソニック）が独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0)に基づきライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1)に基づきライセンスされたソフトウェア
- (5) GPL V2.0、LGPL V2.1以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記(3)～(5)に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての默示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

詳細は、本製品のソフト情報表示画面から所定の操作により表示されるライセンス条件をご参照ください。

パナソニックは、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口：oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

また、これらソースコードおよび著作権者の情報は、以下のウェブサイトからも自由に無料で入手することができます。

<http://panasonic.net/avc/oss/>

?

必要なとき

保証とアフターサービス (よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理などは

■ まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

▼ お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話 () -

お買い上げ日 年 月 日

miniB-CASカード番号

※ miniB-CAS カード番号を記入してください。

お問い合わせのときに必要な場合があります。

修理を依頼されるときは

「故障かな!?」(→48、49)でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

● 製品名 ポータブル
地上・BS・110度CSデジタルテレビ

● 品番 UN-19F5

● 故障の状況 できるだけ具体的に

● 保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、
おそれりますが、保証書を添えてモニターとチューナー部の両方をご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

● 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※ 補修用性能部品の保有期間 8年

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後8年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

● 使いかた・お手入れなどのご相談は - - - - -

パナソニック VIERA(ビエラ)ご相談窓口 365日
受付9時～20時
パナは キュウハチイチ
電話 フリー ダイヤル  0120-878-981
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

● 修理に関するご相談は - - - - -

パナソニック 修理ご相談窓口
パナは イイヨ
電話 フリー ダイヤル  0120-878-554
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

お問い合わせのときは、診断コードをお聞きすることができます。(→48)

事前に診断コードをお控えいただくと、お問い合わせへの迅速なご対応が可能となります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■各地域の修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかげください。

・地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区	札幌	☎ (011)894-1255	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭川	☎ (0166)22-3015	旭川市2条通16丁目1166
	帯広	☎ (0155)33-8478	帯広市西20条北2丁目23-3
	函館	☎ (0138)48-6630	函館市西桔梗町589-241
東北地区	青森	☎ (0172)62-0880	青森市浪岡大字浪岡字稻村262-1
	秋田	☎ (018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩手	☎ (019)645-6130	盛岡市扇川5丁目1-43
	宮城	☎ (022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山形	☎ (023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福島	☎ (024)991-9308	郡山市備前館2丁目5
首都圏地区	栃木	☎ (028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群馬	☎ (027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨城	☎ (029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼玉	☎ (048)728-8960	熊谷市宮町1丁目29番
	千葉	☎ (043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東京	☎ (03)5477-9700	東京都杉並区本天沼3丁目43-16
	山梨	☎ (055)222-5822	中央市山之神流通団地1-5-1
	神奈川	☎ (045)847-9720	横浜市戸塚区品濃町561-4
	新潟	☎ (025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
	石川	☎ (076)280-6608	金沢市玉鉢2丁目266番地
中部地区	富山	☎ (076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福井	☎ (0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長野	☎ (0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静岡	☎ (054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛知	☎ (052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐阜	☎ (058)278-6720	岐阜市中鶴4丁目42
	三重	☎ (059)254-5520	津市久居野村町字山神421
	滋賀	☎ (077)582-5021	栗東市小柿9丁目4-10
近畿地区	京都	☎ (075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大阪	☎ (06)7730-8888	門真市松生町1-15
	奈良	☎ (0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎ (073)475-2984	和歌山市栗柄373-4
	兵庫	☎ (078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	松江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡山	☎ (086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20-14
	広島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山口	☎ (083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香川	☎ (087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
	徳島	☎ (088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高知	☎ (088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛媛	☎ (089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福岡	☎ (092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮崎	☎ (0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊本	☎ (096)367-6067	熊本市東区健軍本町12-3
沖縄地区	鹿児島	☎ (099)246-7050	鹿児島市上谷口町3128-3
	沖縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。<http://www.panasonic.com/jp/support/consumer/repair/area.html> 1114

?

必要なとき

英数字	ページ		ページ
■ HDMI		た 行	ページ
アンプと接続	39	チューナー部・モニター	14
テレビと接続	36, 37, 38, 39		
■ miniB-CAS カード	34	な 行	ページ
あ 行	ページ	内蔵の取扱説明書	4
■ アンテナ		ネットワーク	
接続する	35	接続する	43, 44
■ アンプと接続する	39	設定する (モニターで)	45
■ お部屋ジャンプリンク		は 行	ページ
操作する (モニターで)	31	ホーム画面	28
さ 行	ページ	ま 行	ページ
■ 診断コード	48	■ 無線 LAN	
■ 接続		接続する	43
AC アダプター	23	設定する (モニターで)	32
アンテナケーブル	22	■ 無線と映像品質の設定	20
アンプ	39		
テレビ	34	ら 行	ページ
電源コード	40	■ リモコンモード	
ネットワーク	43	チューナー部	42
無線 LAN 中継機	20	モニター	33
無線ブロードバンドルーター	44		
モニターとチューナー部	24		
■ 設置			
チューナー部・モニター	18, 19, 20		
モニター	23		
■ 設定			
チューナー部・モニター	24		
ネットワーク	45		
モニター	32		
■ 操作			
モニター	28		

?

必要なとき

ホームページ

<http://panasonic.jp/support/>



操作方法や困ったときに役立つ
サポート情報を掲載しています。

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

お宅の家電情報をまとめて登録管理！エンジョイポイントをためてプレゼントに応募！

PC <http://club.panasonic.jp/>

携帯 <http://mobile.club.panasonic.jp/>



※このサービスは
WEB限定のサービスです。

●使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック 総合お客様サポートサイト

<http://www.panasonic.com/jp/support/>

パナソニック VIERA(ビエラ)ご相談窓口

電話

フリーダイヤル

0120-878-981

365日 受付9時～20時

パナは キュウハチ

携帯・PHS OK

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記番号が
ご利用いただけない場合 **06-6907-1187**

■FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256-5444

Osaka (06) 6645-8787

Open: 9:00 - 17:30

(closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は…

パナソニック 修理サービスサイト

<http://club.panasonic.jp/repair/>

インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリー ダイヤル **0120-878-554**

携帯・PHS OK

パナは イイヨ

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

・上記電話番号がご利用いただけない場合は、
各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

●宅配便による引取・配送サービスも承っております。(保証期間内は無料)

●パナソニックスマートアプリの使いかたなど のご相談は…

パナソニック スマートアプリのご紹介サイト

<http://panasonic.jp/pss/ap/>

パソコン、スマートフォンのどちらからでもご覧になれます。

スマートフォンを使った
タッチアクセス・無線アクセス機能ご相談窓口 365日
受付9時～20時

電話 フリー ダイヤル **0120-878-832**

携帯・PHS OK

パナは ハチサンニ

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

本機の使用中、何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧、放送方式が異なりますので使用できません。
This unit can not be used in foreign country as designed for Japan only.

愛情点検

長年ご使用のポータブル地上・BS・110度CSデジタルテレビの点検を！



こんな症状は
ありませんか

- 煙が出たり、異常ににおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 本体に変形や破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

ご使用
中止

故障や事故防止のため、
電源を切り、コンセント
から電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検を
ご相談ください。

廃棄時にご注意
願います！

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ（ブラウン管式、液晶式、プラズマ式）を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象商品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

パナソニック株式会社 ホームエンターテインメント事業部

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

© Panasonic Corporation 2015

SQT0772

F0315TN0